

### 3 市民による個別事業評価

### 3 市民による個別事業評価

#### 3.1 市民全体を調査対象とした個別事業評価

調査対象を市民全体（年代・性別を問わない）とした個別事業評価については、「2 市民による市政評価」の調査票に合冊し、併せて実施した。

従って、調査対象、回答率、回答者の属性については、市民による市政評価の結果と同じ（p 4・5を参照）になっている。

##### 3.1.1 成人式について

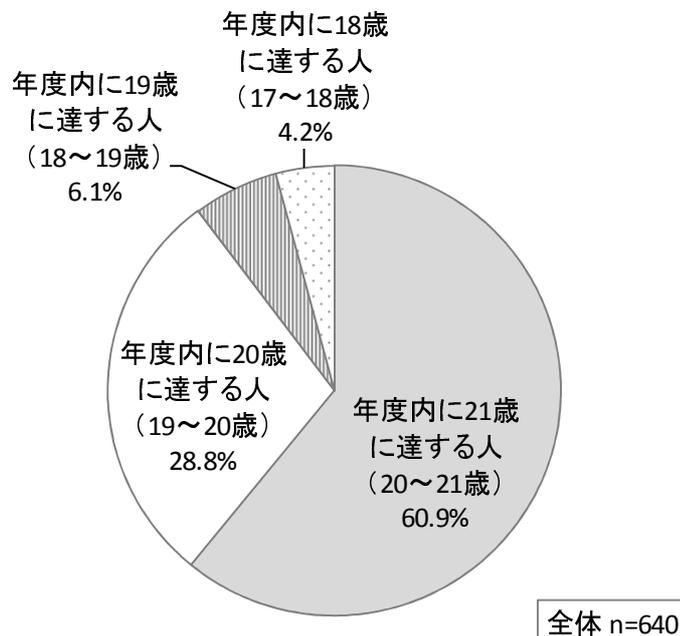
（生涯学習部生涯学習課）

- ◆ **調査目的：** 市では、成人を迎える市内中学校卒業生及び市内在住者を対象に、毎年成人式を開催している。成人式は、各地方自治体の判断で実施されているが、民法の一部改正により、令和4年4月1日から成人の対象年齢が20歳から18歳に引き下げられるため、成人式の対象年齢や開催時期などについて市民の意向を調査し、令和4年度以降の成人式の在り方についての参考とする。

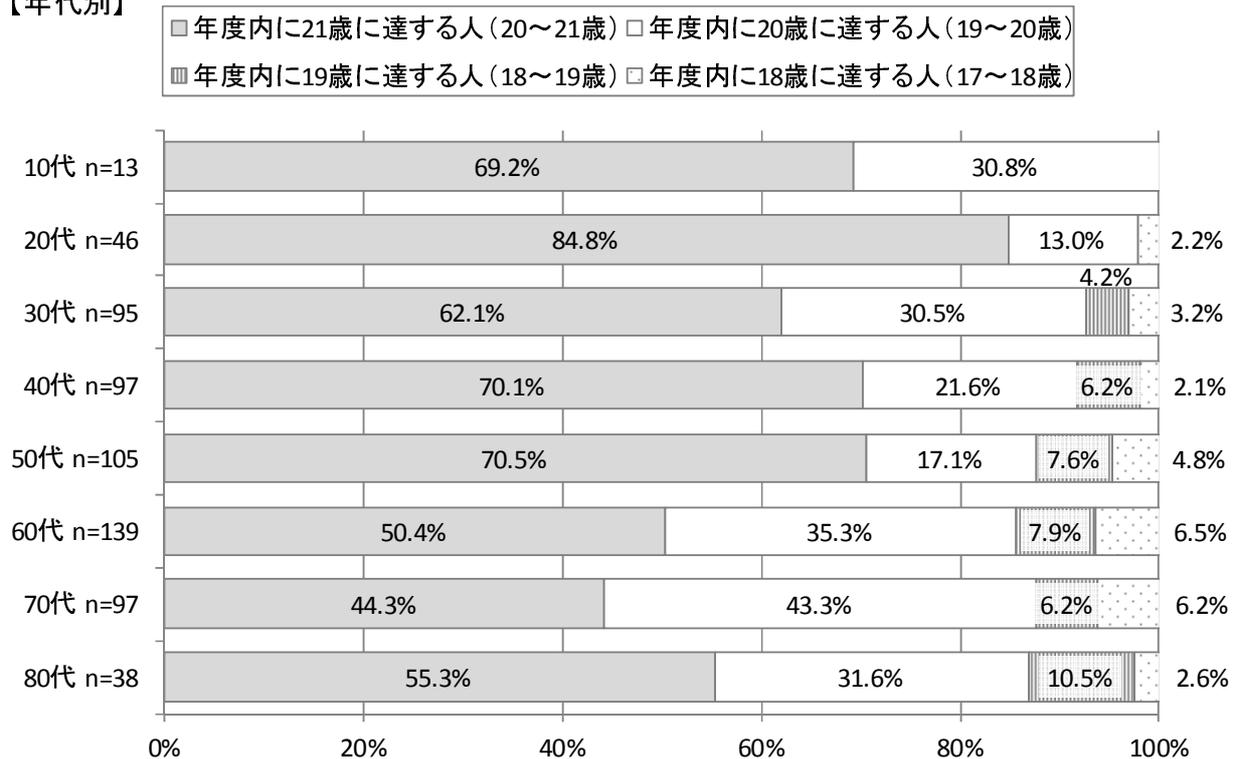
**【問1】** 令和4年度以降、成人式を行う対象年齢としてどの年代が望ましいと思いますか。

- 全体では、「年度内に21歳に達する人（20～21歳）」と回答した方が60.9%で最も多く、次いで「年度内に20歳に達する人（19～20歳）」が28.8%となっており、現行の対象年齢が6割以上を占め、最も多い回答となった。
- 年代別で見ると、全ての年代で「年度内に21歳に達する人（20～21歳）」と回答した方が最も多く、20代の84.8%が他の年代よりも突出して最も大きくなっている。また、「年度内に19歳に達する人（18～19歳）」と「年度内に18歳に達する人（17～18歳）」を合わせた割合は、10代では0.0%、20代では2.2%しかないが、50代以上では1割以上を占めている。

**【全体】**



【年代別】

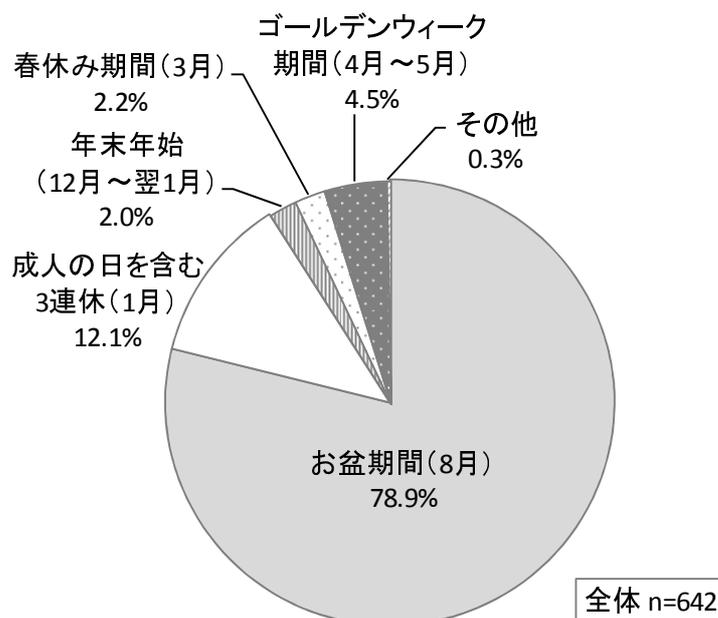


【問2】成人式の開催時期はいつが望ましいと思いますか。

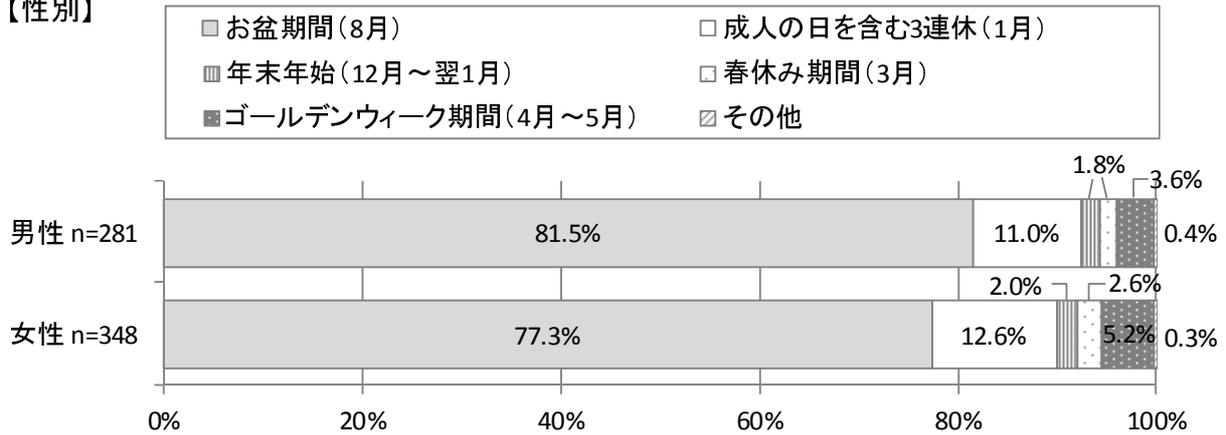
○全体では、「お盆期間（8月）」と回答した方が78.9%で最も多く、次いで「成人の日を含む3連休（1月）」が12.1%となっており、現行の開催期間が8割近くを占め、最も多い回答となった。

○性別で見ると、ほぼ同様の傾向となっており、男女とも「お盆期間（8月）」と回答した方が約8割を占め、最も多くなっている。

【全体】



【性別】



■その他の回答

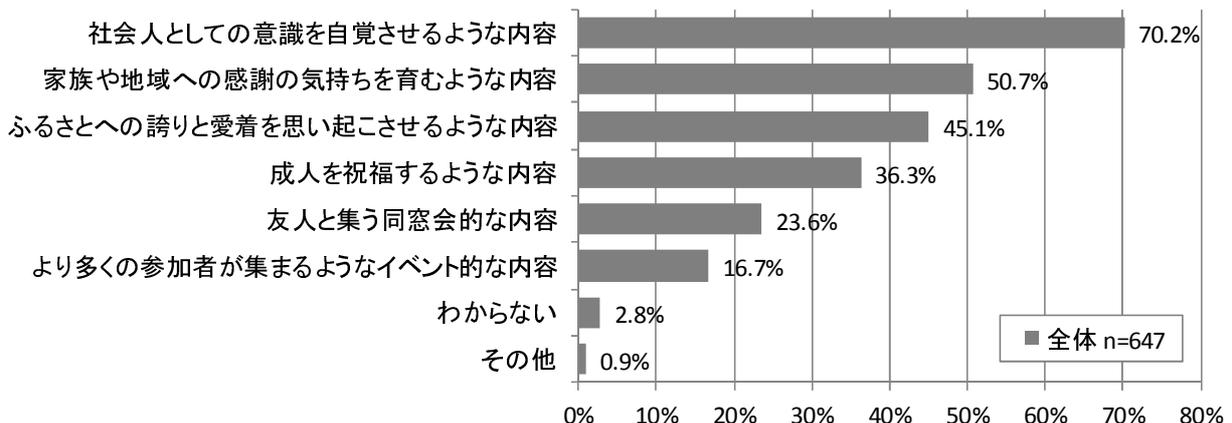
- 花火前日近く (60代/男性/大曲)
- 秋田市在住だったので、ピンとこない。ずっと市内在住だったら回答しやすいが (30代/女性/大曲)

【問3】 今後、成人式の内容として重視すべきものは何だと思えますか。(複数回答可)

○全体では、「社会人としての意識を自覚させるような内容」と回答した方が70.2%で最も多く、次いで、「家族や地域への感謝の気持ちを育むような内容」が50.7%、「ふるさとへの誇りと愛着を思い起こさせるような内容」が45.1%となった。

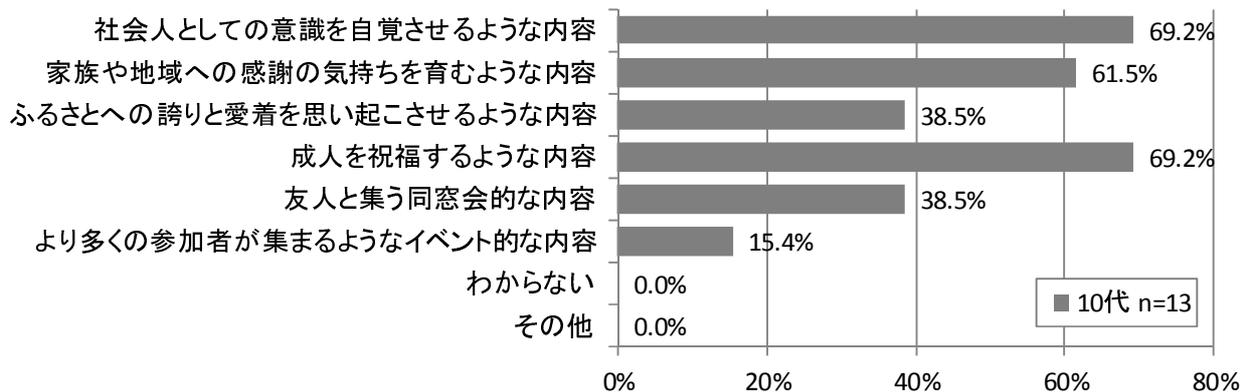
○年代別で見ると、全ての年代で「社会人としての意識を自覚させるような内容」と回答した方が最も多く、10代では「成人を祝福するような内容」も同じく最も多くなっている。次いで多いのは、30代以上は「家族や地域への感謝の気持ちを育むような内容」または「ふるさとへの誇りと愛着を思い起こさせるような内容」となっているが、20代では「成人を祝福するような内容」となっている。

【全体】

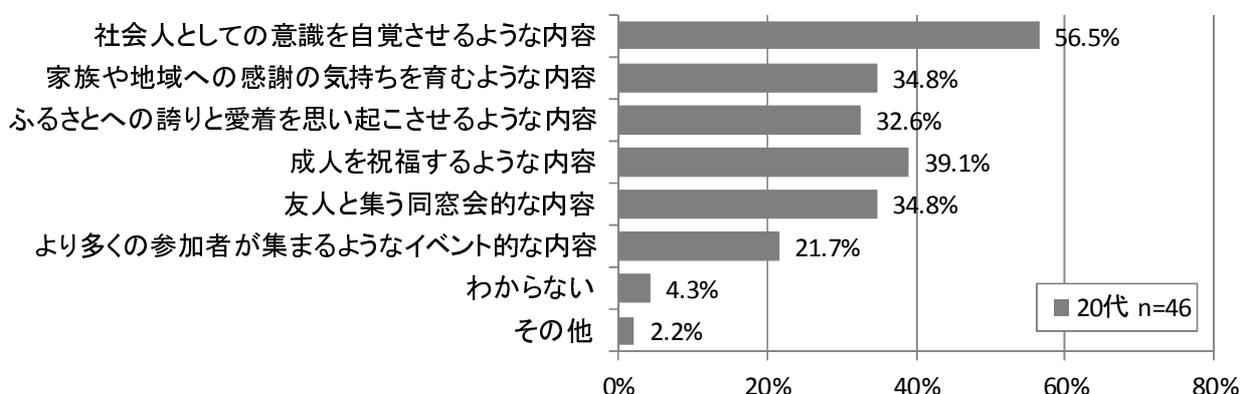


## 【年代別】

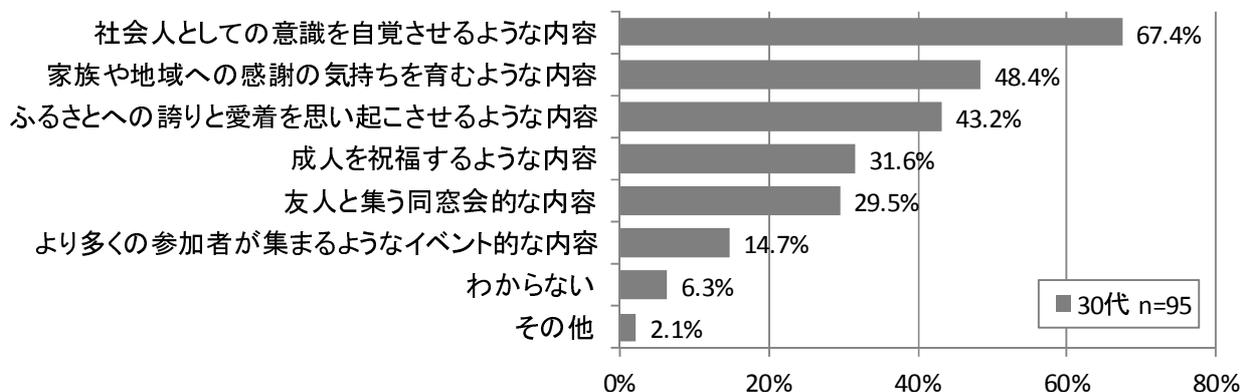
### ■ 10代



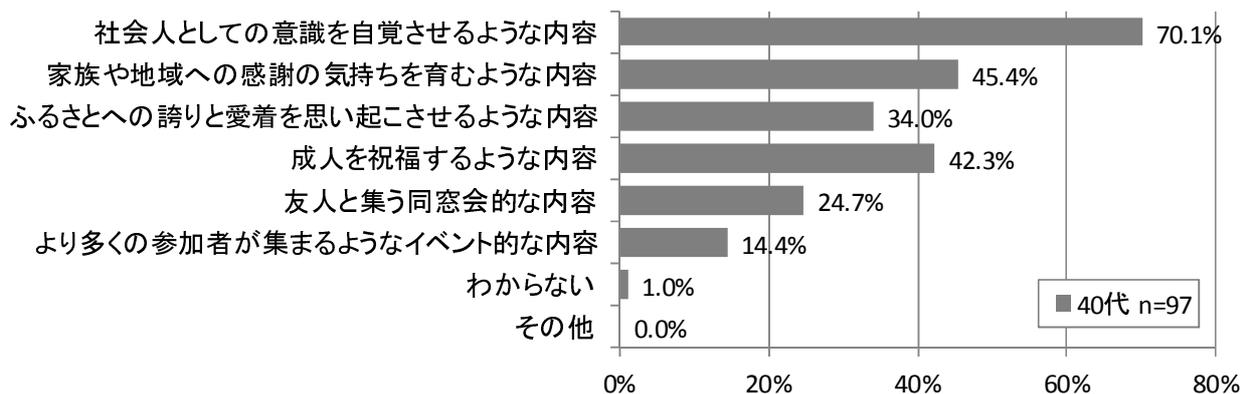
### ■ 20代



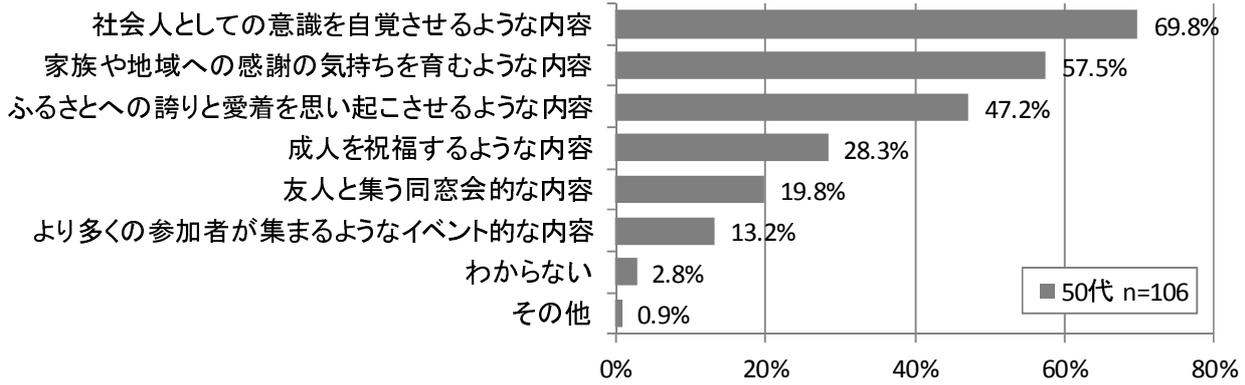
### ■ 30代



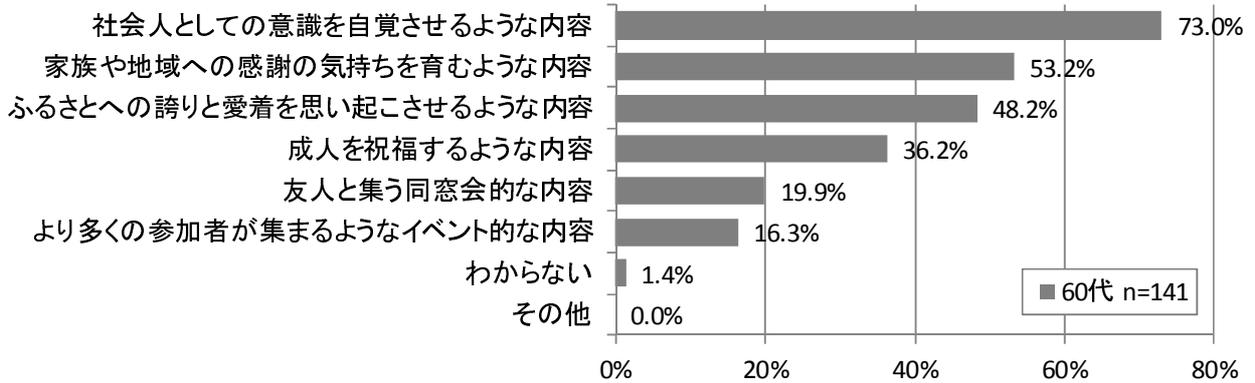
### ■ 40代



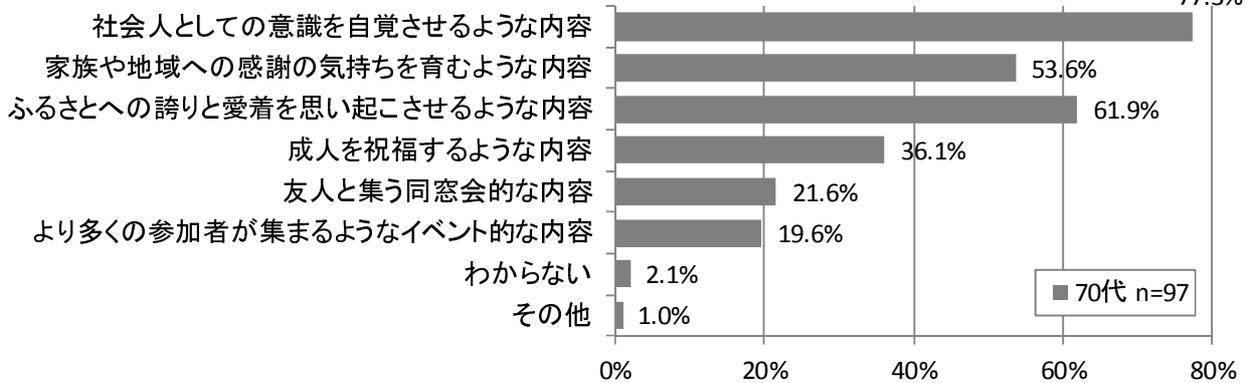
■ 50代



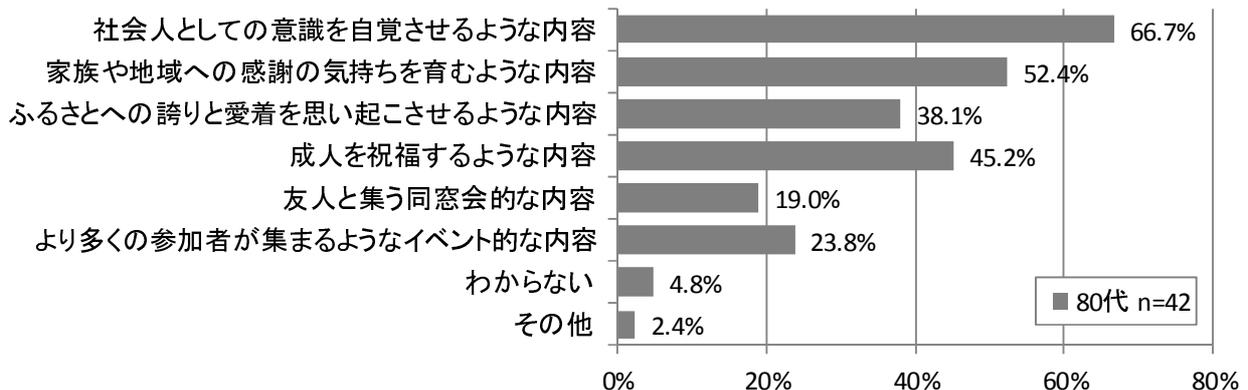
■ 60代



■ 70代



■ 80代



## ■その他の回答

- 必要ないと思います（50代／男性／大曲）
- なくてもよい（30代／男性／太田）
- 一人の人間として、健康で健全な日々を過ごしてほしいです。（80代以上／性別不明／大曲）
- ふるさと納税の周知、簡単に手続きできることも必要。SNSを利用して（20代／女性／大曲）
- 社会人になり、自分の行動や言動に責任を持たなければいけないと自覚させる（30代／女性／太田）
- 十人十色だと思うので1～6をうまくおこなわせて（70代／女性／大曲）

## ◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

○成人式を行う対象年齢は、「年度内に21歳に達する人（20歳～21歳）」と回答した方が60.9%で最も多く、次いで「年度内に20歳に達する人（19～20歳）」が28.8%となっており、民法の一部改正により成人年齢が18歳に引き下がっても89.7%の方が20歳の節目に成人式を行うことが望ましいと考えている。

○成人式の開催時期については、現行の「お盆時期（8月）」が78.9%を占めている。

○成人式の内容として重視すべきものとして、「社会人としての意識を自覚させるような内容」が70.2%で最も多く、次いで「家族や地域への感謝の気持ちを育むような内容」が50.7%、「ふるさとへの誇りと愛着を思い起こさせるような内容」が45.1%となっており、幅広い年代から成人式がこのような機会として求められていることが伺える。また、10代の回答では「社会人としての意識を自覚させるような内容」と並んで「成人を祝福するような内容」が69.2%の最も多い回答を得ており、これから成人式を迎える年代にとって期待を感じさせる事業であることが伺える。

○今般の調査から民法の一部改正に伴う成人年齢の引き下げが行われても、市民の多くは対象年齢を変更せず、これまでどおりの成人式の形式による開催を望んでいることがわかった。今回の調査結果を踏まえ、これまでの事業内容の見直しも図りながら、令和4年度以降の成人式の在り方を検討していく。

3. 1. 2 自殺対策啓発事業について

(健康福祉部健康増進センター)

◆ 調査目的：市では、平成31年3月に「大仙市いのち支える自殺対策計画」を策定し、「誰も自殺に追い込まれることのない大仙市の実現」を目指して、自殺対策を総合的に推進している。市の自殺対策やこころの健康に関する取り組みについて調査し、今後、効果的に自殺対策啓発事業を展開していくための参考とする。

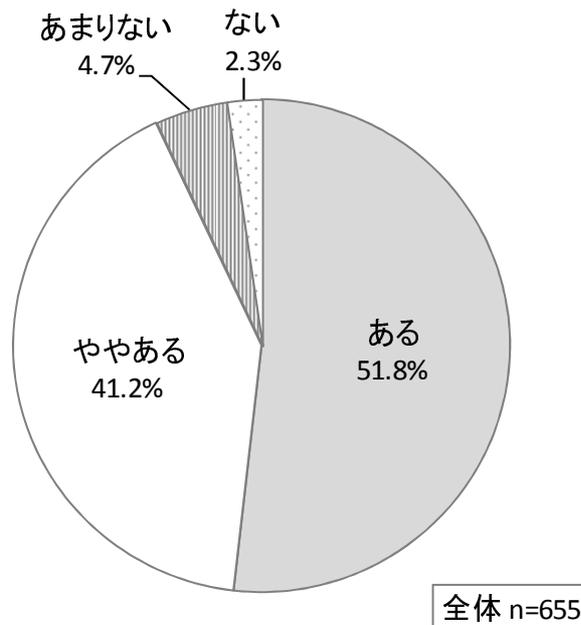
【問1】あなたは、こころの健康に関心がありますか。

○全体では、「ある」と回答した方が51.8%で最も多く、「ある」と「ややある」を合わせた割合は93.0%となっており、9割以上が関心があると回答している。

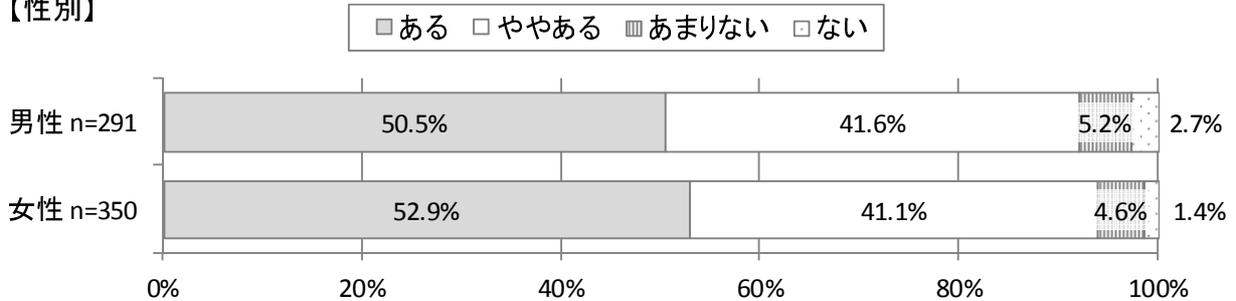
○性別で見ると、男女とも「ある」と「ややある」を合わせた割合が9割以上となっており、大きな違いは見られない。

○年代別で見ると、「ある」と「ややある」を合わせた割合は、80代では87.5%となっており、80代以外の全ての年代では9割以上となっている。

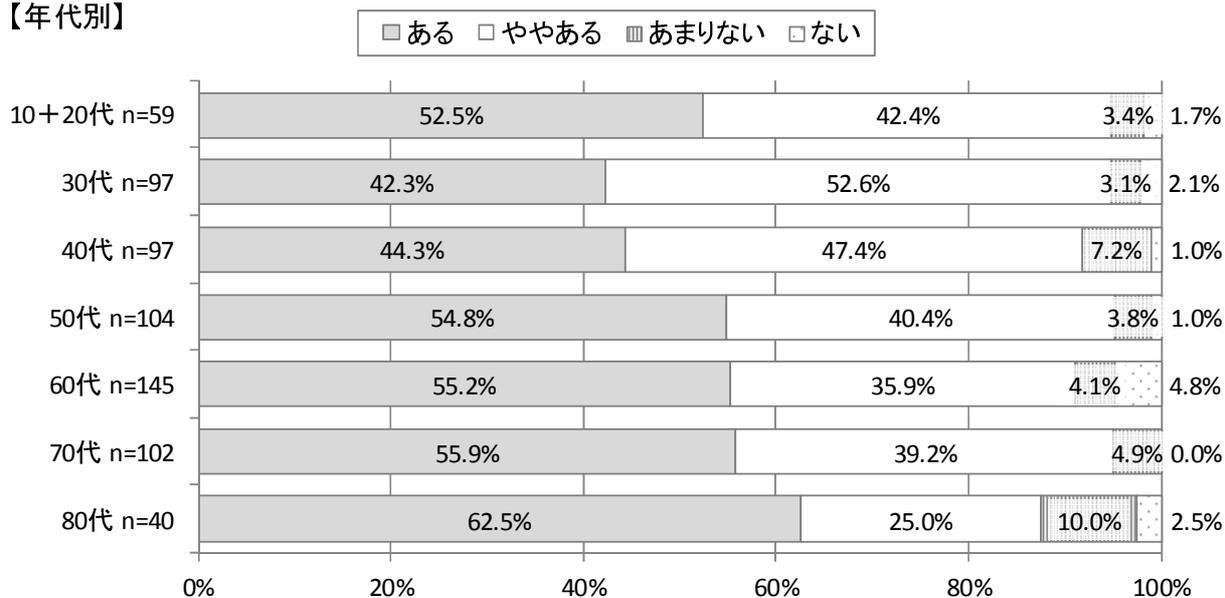
【全体】



【性別】



## 【年代別】



### ■ 「3. あまりない」、「4. ない」の理由

- 悩みは最終的に自分で解決するものと思っています。心が弱いと生きてゆくのが大変だから。(60代/女性/大曲)
- 言葉では簡単ですが、「お金」の問題とかは助けることができない。仕方ないと思うことが多いです。(50代/男性/大曲)
- こころの健康はその人個人の心の持ちようだから。(40代/女性/南外)
- 生きている限り必ず悩みがある為、心の健康を考えてもしょうがないと感じてしまう。(20代/女性/大曲)
- 興味がない(40代/男性/中仙)
- 心に問題がなくても、自殺する人はいるし、心に問題があっても死なない人もいる(30代/男性/中仙)
- 今の生活に満足しているから。夫婦はうまくいっていないけれど・・・(60代/女性/太田)
- 身内・家族に自死した人がいないので(60代/男性/大曲)
- 考えたことすらない(30代/男性/中仙)
- 体の健康には常に気を付けていますが、心まではまだ考えていません。(50代/女性/太田)
- 自分は楽天的な性格で、あまり思うところはない(40代/男性/仙北)
- 自殺等考えたことがないので(60代/女性/太田)
- 精神は強いので全く関心はない(30代/男性/太田)
- 自分自身や周囲にこころの健康が重度に悪い人がいないと感じるから(30代/女性/大曲)
- 死を選ぶことは、絶対にダメです。(60代/女性/大曲)
- 人は生きている限りいろんなことが起こるがたとえそれが自分にとって負的なものであっても、統括しその中から負を正にとらえることにできる自分自身であるから(60代/男性/中仙)
- 今は心の健康よりも自身の体の健康を考えています。(60代/男性/中仙)
- 今まで、精神的に強度な悩みを持ったことがないため(60代/男性/神岡)

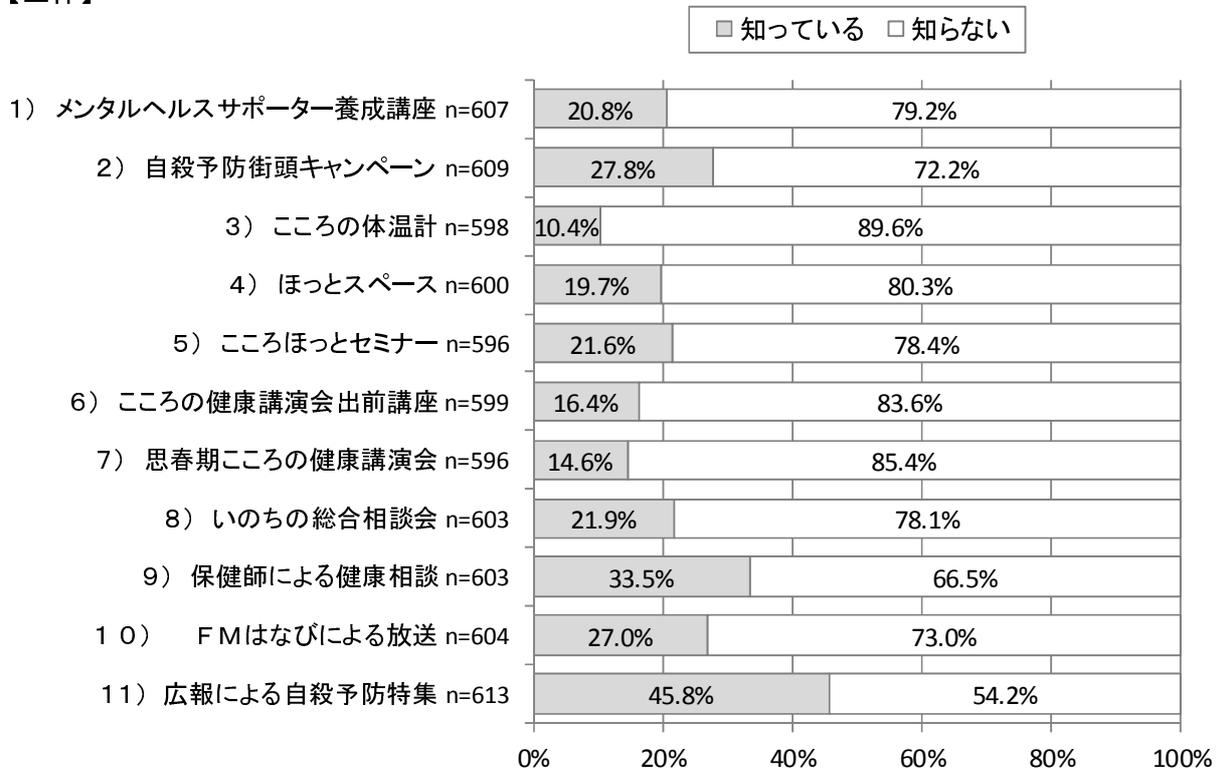
**【問2】市で行っている自殺対策やこころの健康に関する取り組みを知っていますか。**

○全体では、全ての項目で「知らない」と回答した方の割合が大きくなっている。項目別で見ると、「知っている」と回答した方の割合は「広報による自殺予防特集」の45.8%が最も大きくなっており、次いで「保健師による健康相談」が33.5%となっている。それ以外の項目では全て7割以上が「知らない」と回答している。

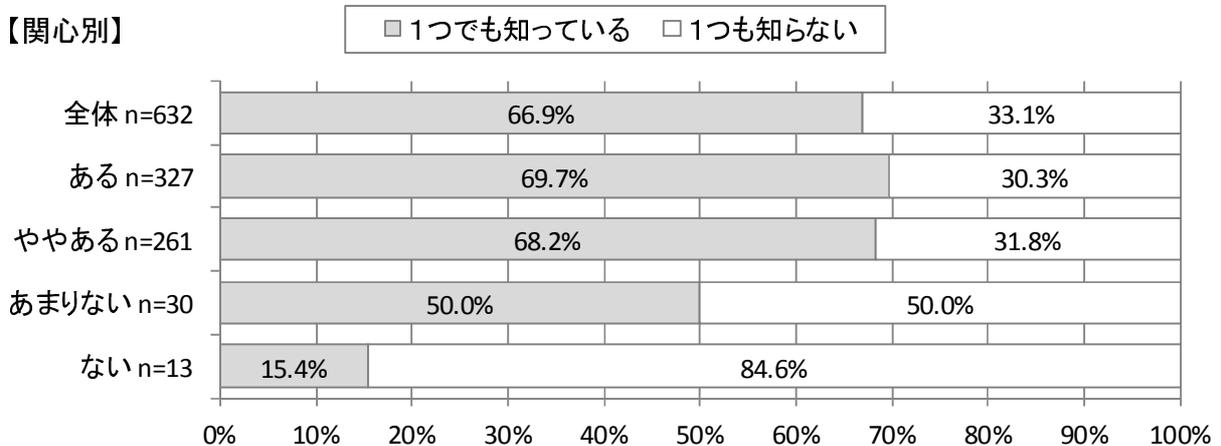
○問1の関心別で、市で行っている事業について「1つでも知っている」または「1つも知らない」で分析したところ、「ある」または「ややある」と回答した方は、どちらも7割近くが市の事業を「1つでも知っている」と回答している。

また、関心の度合いが低くなるにつれ、「1つでも知っている」の割合が小さくなっており、「あまりない」ではちょうど半数となっているが、「ない」では15.4%と大幅に減少しており、関心の有無が市の事業の認知度にも影響していることがわかる。

**【全体】**



**【関心別】**



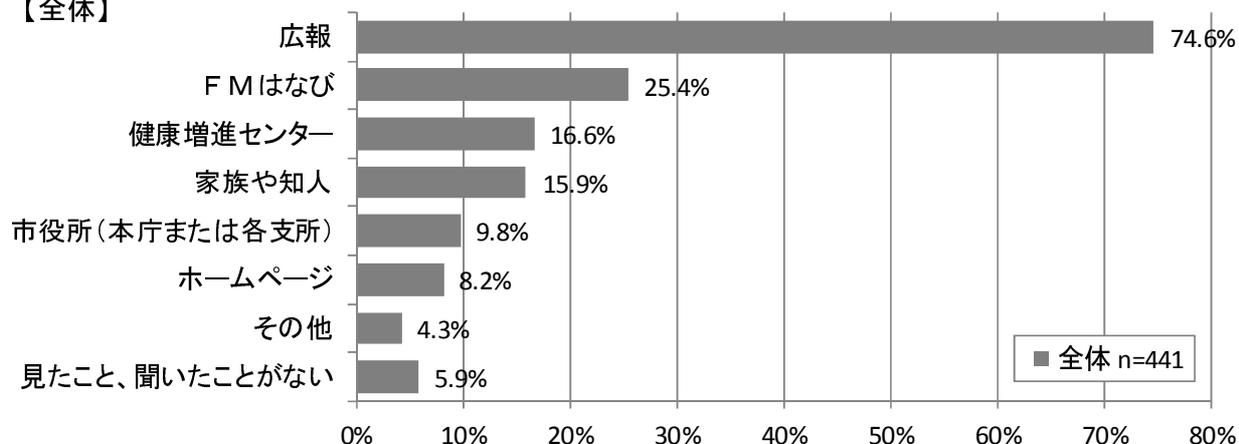
【問3】市の自殺対策やこころの健康に関する情報をどこで見たり、聞いたりしましたか。

(複数回答可) (問2で1つでも「a) はい(知っている)」と回答した方)

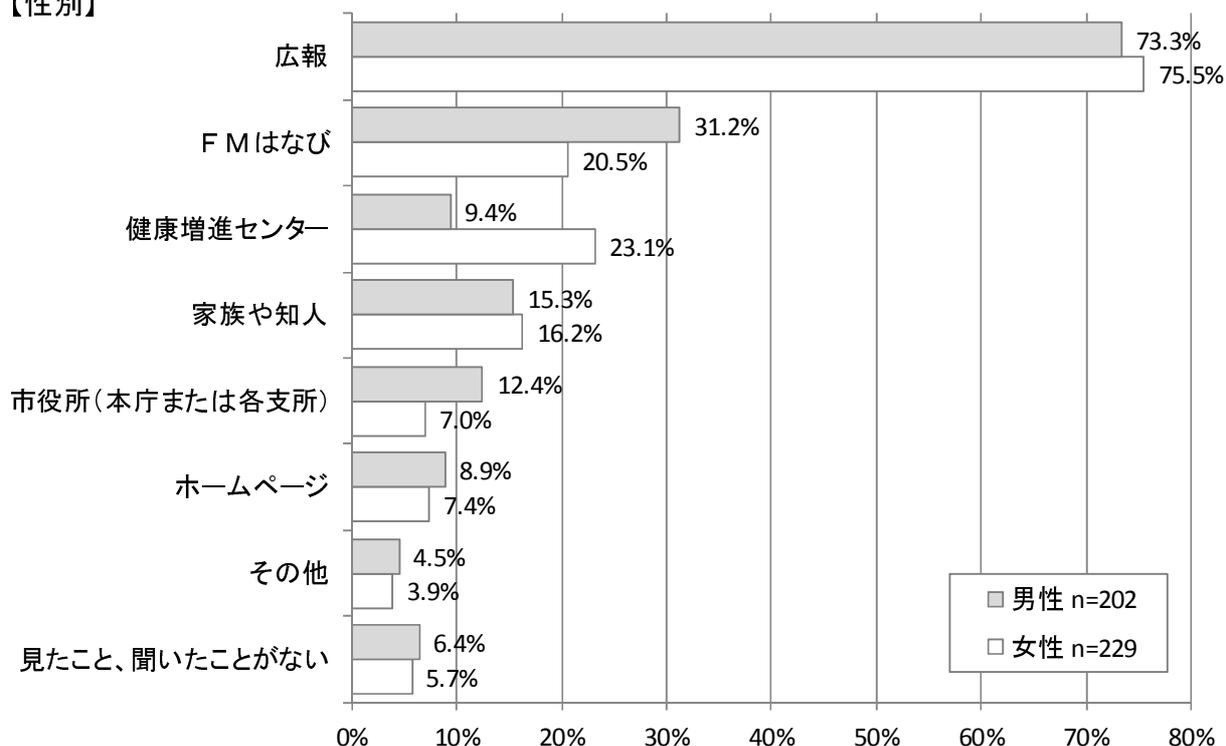
○全体では、「広報」と回答した方が74.6%で突出して最も多く、次いで「FMはなび」が25.4%、「健康増進センター」が16.6%となっている。

○性別で見ると、男女とも「広報」が7割以上で最も多くなっている。次いで多い回答は、男性では31.2%の「FMはなび」となっており、女性では23.1%の「健康増進センター」となっている。男性は通勤や勤務において、女性は各種検診等において情報を得ているものと考えられる。

【全体】



【性別】



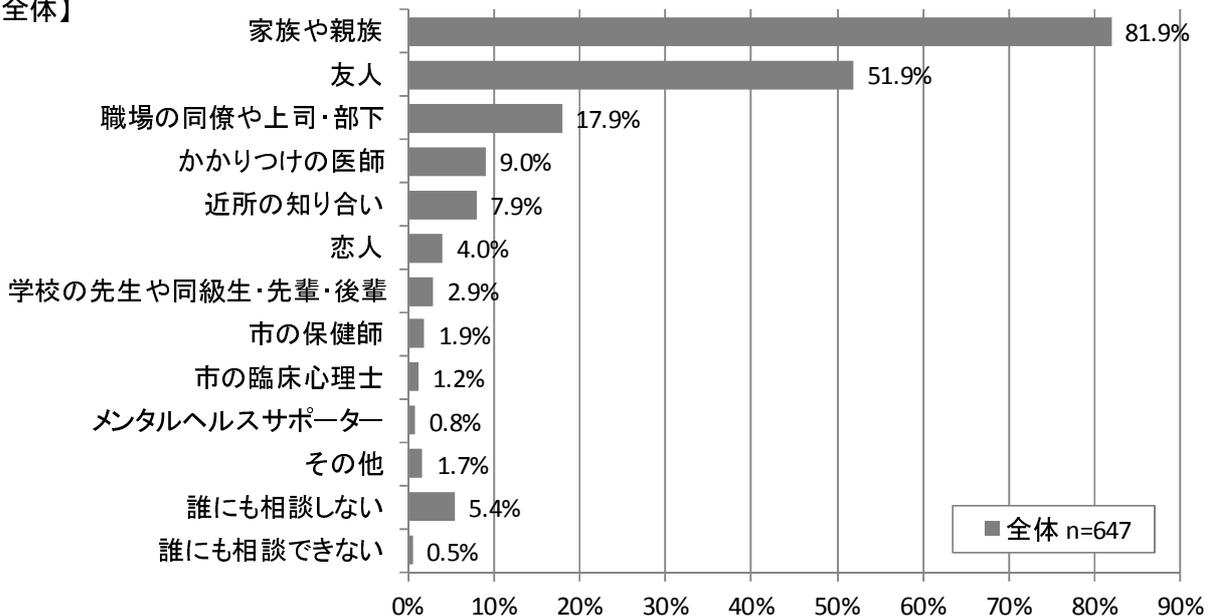
■その他の回答

- ポスター（30代／男性／西仙北、20代／女性／大曲）
- 職場（40代／男性／大曲、年代・性別・地域不明）
- 学校（10代／男性／大曲、10代／男性／太田、10代／女性／大曲 2名、20代／男性／大曲、40代／男性／大曲）
- 何から知ったか忘れた（60代／男性／大曲）
- 保健所（60代／女性／大曲）
- 街頭（30代／男性／仙北、30代／女性／大曲）
- 街のどこかで、のぼりが立っていた（70代／女性／大曲）
- テレビ（40代／女性／大曲、60代／男性／協和）
- 新聞（50代／女性／西仙北）
- なんとなく（40代／女性／大曲）

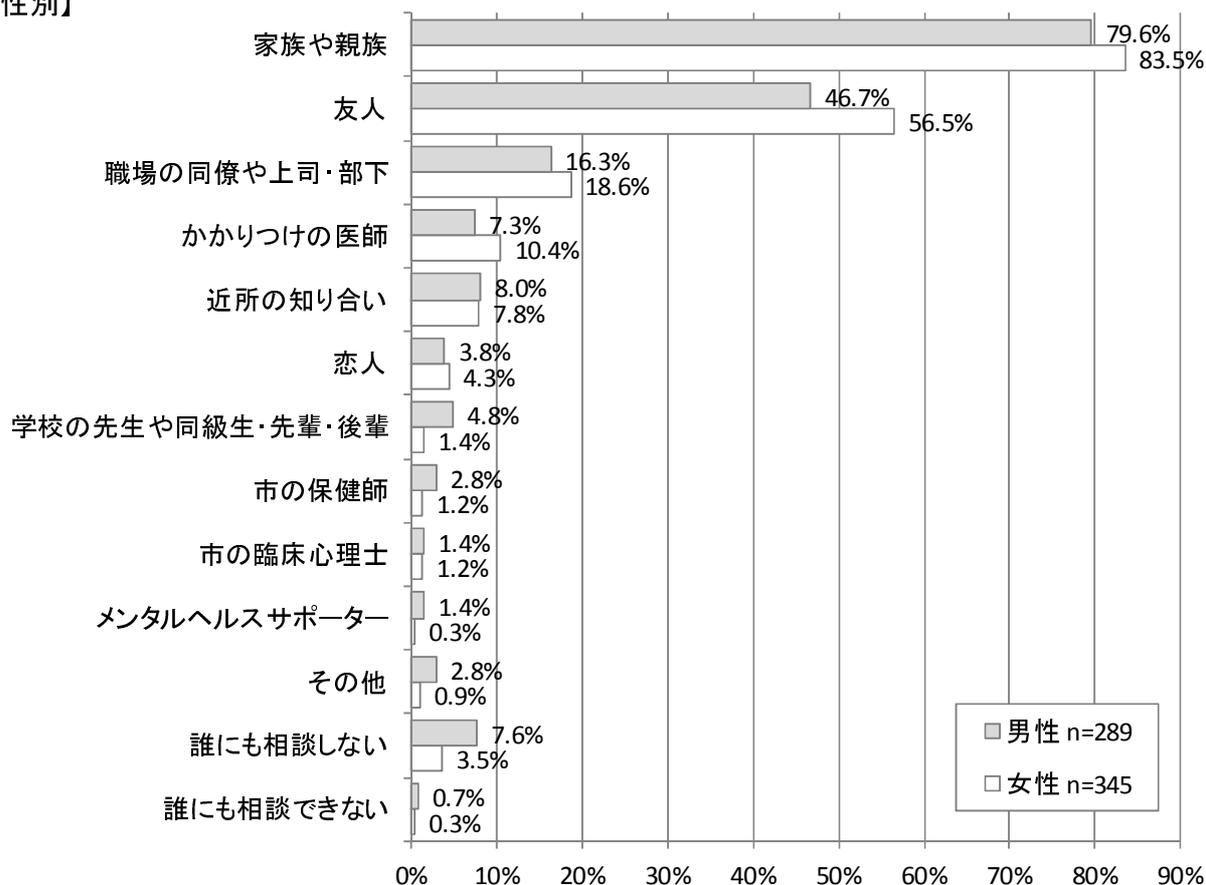
【問4】あなたは、悩みがあったり困ったりしたときに誰に相談しますか。（複数回答可）

- 全体では、「家族や親族」と回答した方が81.9%で最も多く、次いで「友人」が51.9%、「職場の同僚や上司・部下」が17.9%となっている。
- 性別で見ると、男女とも同様の傾向となっており、全体とも同様の傾向となっている。「誰にも相談しない」は男性で7.6%、女性で3.5%となっており、男性の方が4.1ポイント大きくなっている。
- 「相談しない人」と「相談できない人」の関心の有無について分析したところ、「ある」と「ややある」を合わせた割合は、「相談しない人」では82.8%、「相談できない人」では66.6%となっており、関心のある方の方が多くなっている。

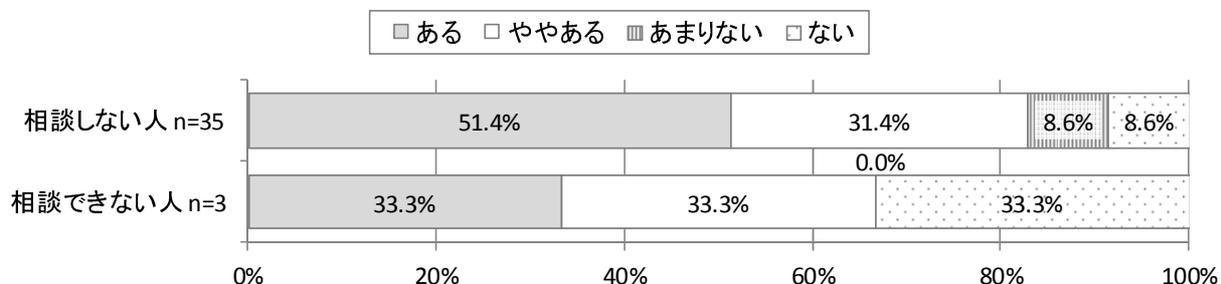
【全体】



## 【性別】



## 【相談しない人、相談できない人の関心の有無】



## ■その他の回答

- ケアマネージャー (50代/女性/神岡、60代/男性/大曲)
- SNS (50代/男性/大曲)
- 相談しても解決にならない (70代/男性/神岡)
- インターネット等で自力調査又は専門家に相談する。(60代/男性/太田)
- 関係団体の職員やアドバイザー、スーパーバイザー (60代/男性/仙北)
- 本を読んだり、ネットで調べる (30代/男性/西仙北)
- サークル仲間 (60代/女性/大曲)

### ■「誰にも相談しない」の理由

- なんともしないから (30代/女性/大曲、年代・性別・地域不明)
- 自分なりに方法を考える (80代以上/男性/中仙)
- 頼る人がいない (40代/男性/西仙北、50代/男性/大曲、50代/男性/西仙北、50代/女性/大曲)
- 誰にも悩みがあるので自分の悩みだけ聞いてもらうのも申し訳なくなってくる為、誰に話しても結局は自分自身の問題。(20代/女性/大曲)
- 信用できないから (30代/男性/大曲、30代/男性/中仙)
- 解決できないことが多いから (50代/男性/南外、50代/女性/大曲、60代/女性/大曲)
- 結局、自己分析するしかないと思う (30代/女性/大曲)
- 自分で納得出来る解決がないと思う (30代/男性/大曲)
- 相談しても相手の人に迷惑をかけてしまうため (20代/男性/大曲、40代/男性/西仙北)
- 同じ内容の返答がくるので (30代/男性/大曲)
- 悩みがない (60代/男性/大曲)
- 自分自身の問題。他人に相談してもどうなるものではないから。(40代/女性/西仙北)
- 真面目に聞いてくれそうな人がいない (50代/男性/中仙)
- 自分で解決できる力があるから (60代/男性/中仙)
- 会話するのがめんどくさい (20代/女性/協和)
- 前進思考。十人十色で最終的に自己判断 (70代/女性/西仙北)

### ■「誰にも相談できない」の理由

- 自分が相談されても助けることができないから (50代/男性/大曲)
- 自分の胸の内に止めておく (70代/男性/西仙北)
- 色々自分で考え、相手に負担をかけたくない (30代/女性/中仙)

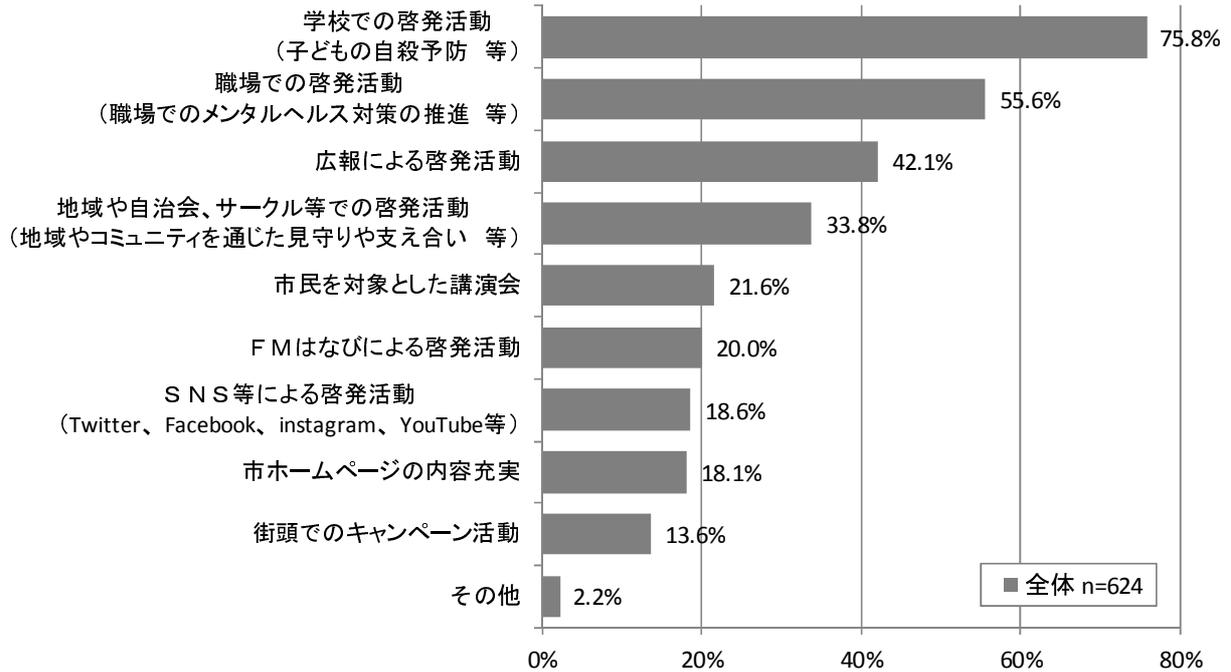
**【問5】市の自殺対策やこころの健康に関する啓発活動としてどのような取り組みをさらに進めていくべきだと思いますか。(複数回答可)**

○全体では、「学校での啓発活動」と回答した方が75.8%で最も多く、次いで「職場での啓発活動」が55.6%、「広報による啓発活動」が42.1%となっている。

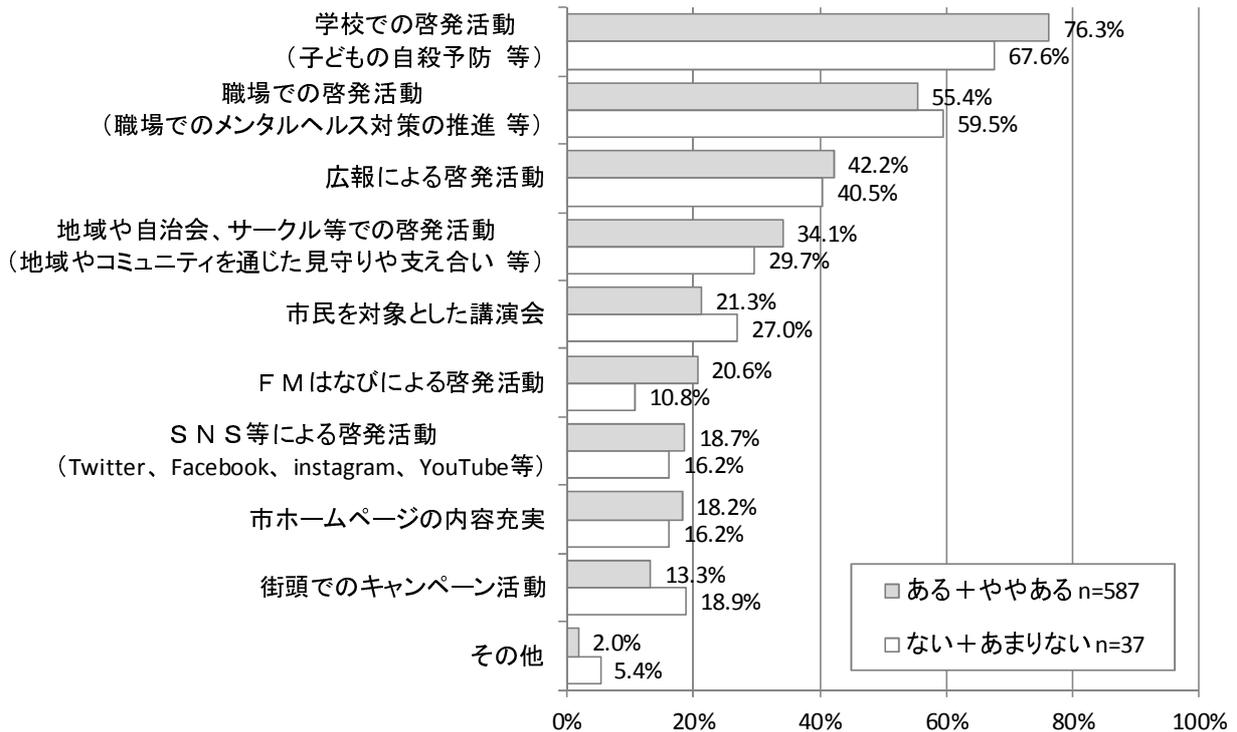
○問1の関心別で見ると、関心のある人とない人のどちらも同様の傾向となっており、全体とも同様の傾向となっている。

○年代別で見ると、全ての年代で「学校での啓発活動」と回答した方が最も多くなっている。また、「学校での啓発活動」、「SNS等による啓発活動」は年代が上がるにつれて減少する傾向となっている。一方、「広報による啓発活動」、「地域や自治会、サークル等での啓発活動」は年代が上がるにつれて増加する傾向となっている。

【全体】

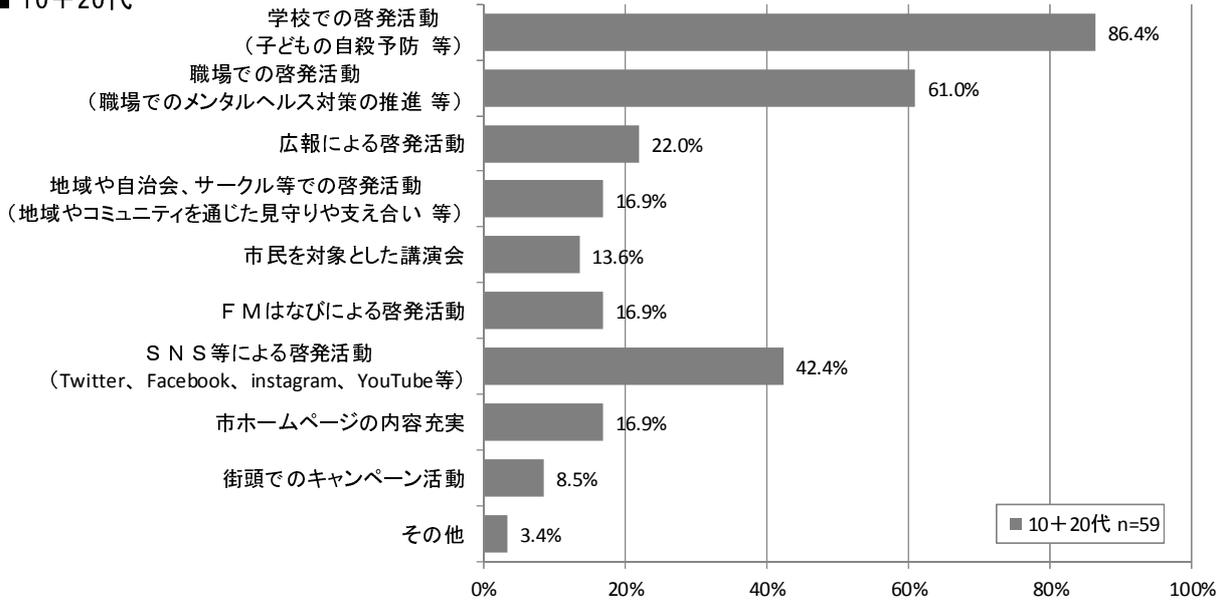


【問 1 関心の有無別】

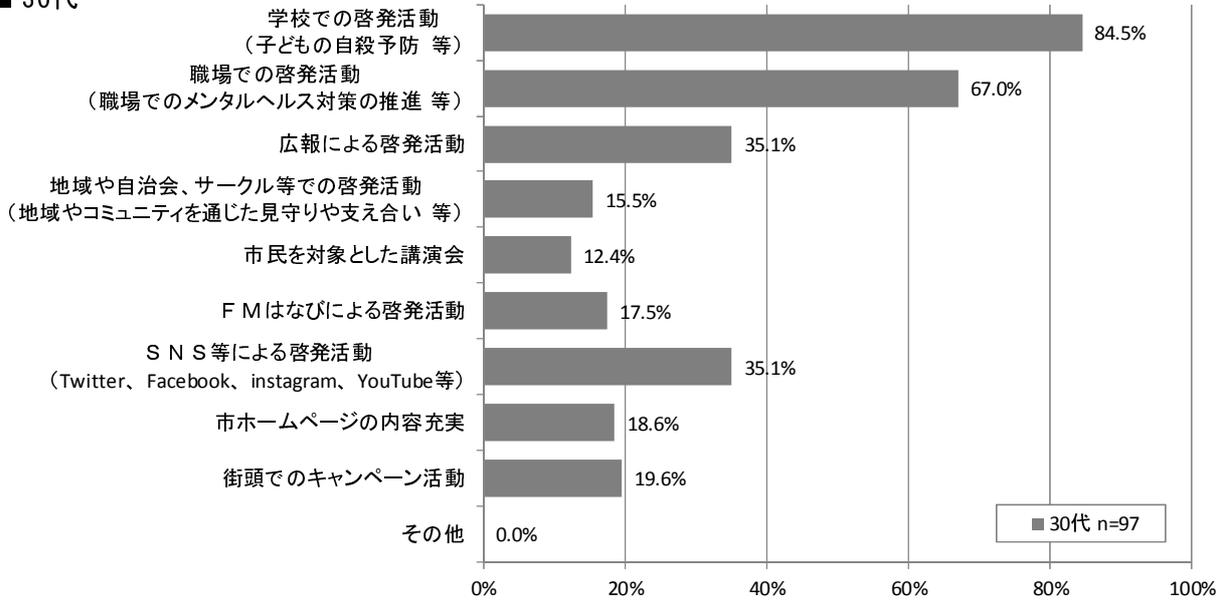


【年代別】

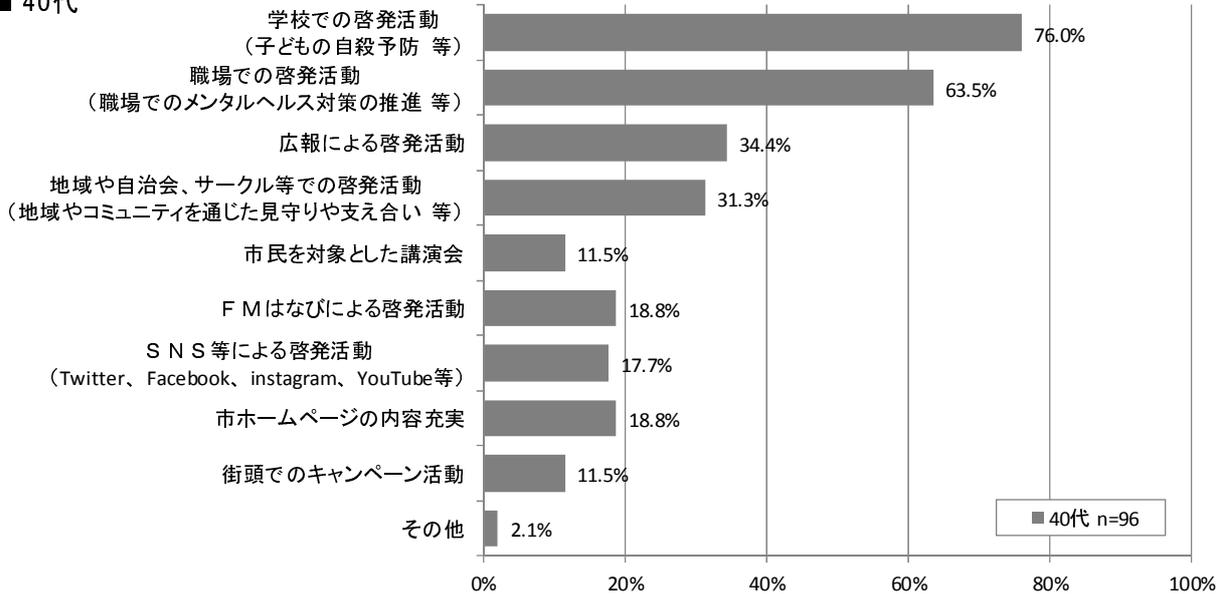
■ 10+20代



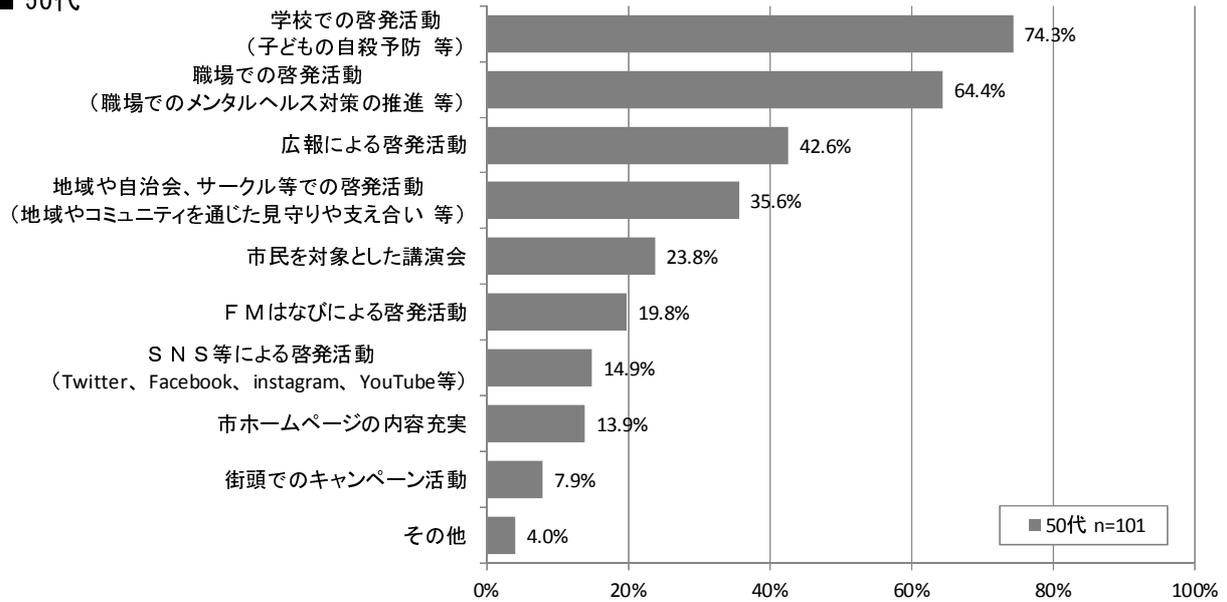
■ 30代



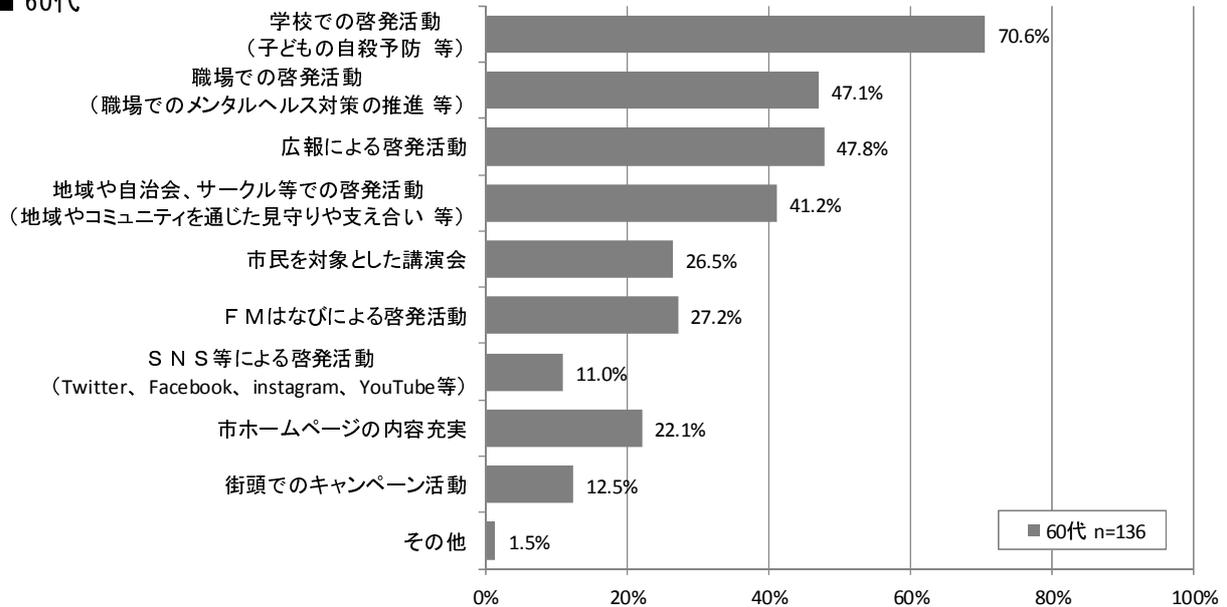
■ 40代



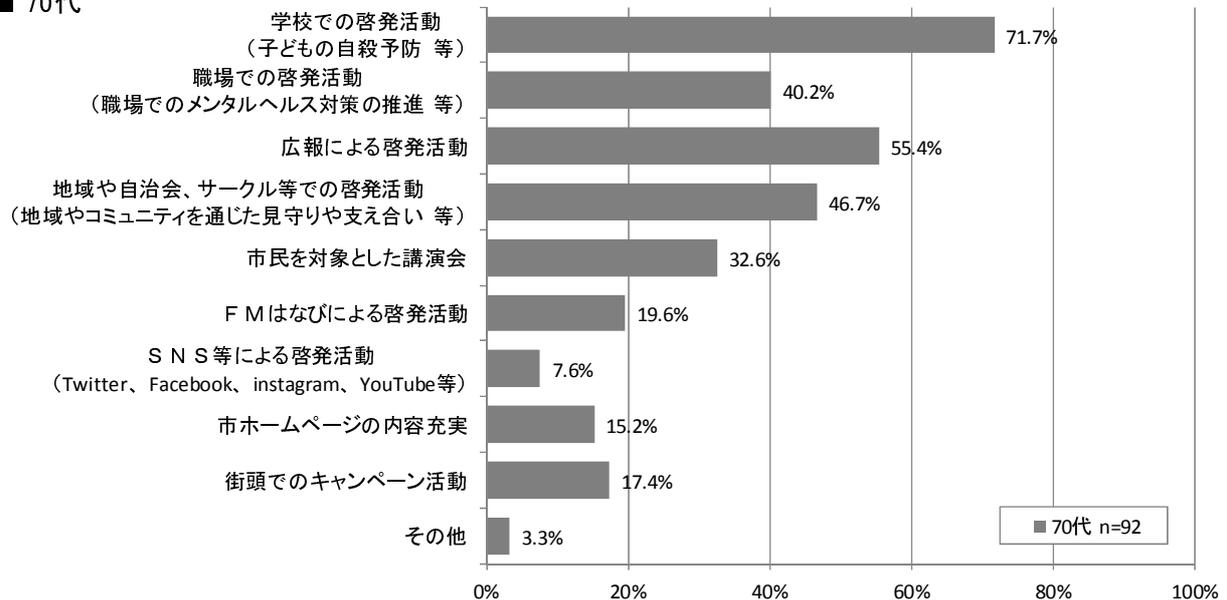
■ 50代



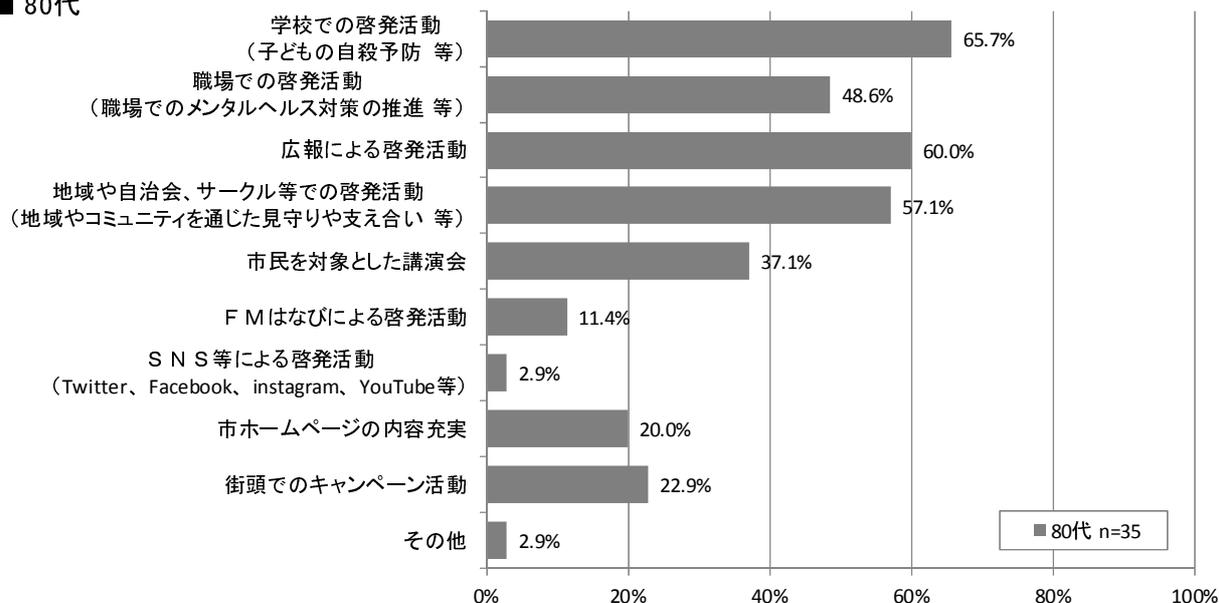
■ 60代



■ 70代



## ■ 80代



## ■ その他の回答

- 知らなかった事が多いのでCMなどで啓発活動ができれば知らない人も知る事ができるのではないかと思います。若い人が必ず SNS (Twitter, Facebook 等) を使うとは限らないのでテレビなら家の人がつけていれば見る機会は増えるかもしれません。(20代/女性/大曲)
- 問2にあるように、たくさんの事業が行われているにもかかわらず、私自身は、そのどの事業にも直接ふれた事がなかった事に啞然とする思いである。私のように困っていてもこれらの事業の存在を知らない人も多いのではないだろうか。民生委員さん達の活動も大きな力だと思うが、助けを必要とする方々にこそ、これらの事業の存在をお知らせしたいものである。(70代/女性/仙北)
- 私には、うつになって約20年になる友人がいます。発症した当初色々な言葉をかけましたが、友人に言われたのが「でも、病気だから」と。素人が何を言っても難しいようです。市のカウンセリングや相談会は恐らく男性は行き難いと思われれます。市民が多く集まるイベント etc で、「うつは誰にでもなる病気です。気分が数日間落ち込んだら、まずは心療内科 etc の医療機関を受診してください」と度々発信していくのはどうかな・・・(50代/女性/南外)
- 活動はどれも大事ですが、人に言えないときの自分のケアが大事です。頑張るしかないかな。それができないときが恐いですネ。(70代/女性/大曲)
- 行政が関与してどうこうする問題ではないと思う。(20代/男性/大曲)
- 広報・啓発のみでは弱腰。企業、病院などとともに活動。(50代/女性/中仙)
- 同じ悩みがある人達とじっくりと話をしたい(70代/女性/太田)
- 啓発しても相談しない人はしないのでもっと気軽に相談できるよう電話番号等を電話機の横に電話番号を書いたシール等を張ってもらう等周知徹底させる(50代/男性/中仙)
- 医療機関の充実(40代/男性/中仙)
- 所得を上げる(40代/女性/大曲)
- 電話での悩み相談(60代/女性/中仙)
- 立派で正しいことを教えるのではなく、生きてると楽しいことを子供たちに伝えられることがあればいいな(60代/女性/大曲)

## ◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 問1でこころの健康に関心が「ある」または「ややある」と回答した方の割合は、男女共に9割を超えており、年代別に見ても80代が87.5%、その他の全年代で9割を超えていた。しかし、市で行っている自殺対策やこころの健康に関する取り組みについて聞いた問2では、設問に挙げた11事業のうち一番認知度が高かった「広報による自殺予防特集」でも45.8%と半数に満たない結果であった。他10事業においても「知っている」と回答した方は1～3割に留まっていた。このことから、こころの健康に関心のある市民が多い一方、市で行っている取り組みの認知度は低いことがわかり、市の取り組みをもっと知ってもらい、生活に役立ててもらえるよう啓発の方法を再考する必要がある。
- 問4の悩みがあったり困ったりしたときに誰に相談するかでは、「家族や親族」と回答した方が81.9%で最も多くなっており、次いで「友人」が51.9%となっている。悩みがある人から相談を受けた場合の相談の受け方や対応が困難な際につながることでできる相談先の周知など、相談を受ける側の対策も進めていきたい。
- また、「誰にも相談できない」と「誰にも相談しない」を合わせると5.9%となっており、性別では男性の方が多くなっている。割合としては多くはないが、そういった方々も一定数はいるため、相談することに抵抗感などを持っている方々に対して、相談しようと思ってもらえるような情報の発信や相談体制について検討していきたい。
- 問5のさらに推進すべき取組については、年代別に見ると特徴に違いが見られるため、今後、啓発活動を推進するにあたっては、それぞれの年代に合った方法による啓発活動が必要である。例えば、若年層には興味をもってもらえるようなSNSを活用した情報の発信や家庭で話題にしてもらえるような講演会の構成や配付物の工夫、働く世代には企業から出前講座実施の協力をいただきながら企業の実情に合った職場のメンタルヘルス対策、シニア世代には、相談先に来られない方や相談窓口を知らない方がいる可能性もあるため、来ていただくだけでなく関係機関とも連携し、こちらから地域に出向いて啓発するなど、より効果的な啓発活動を実施していきたい。

3. 1. 3 花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」について

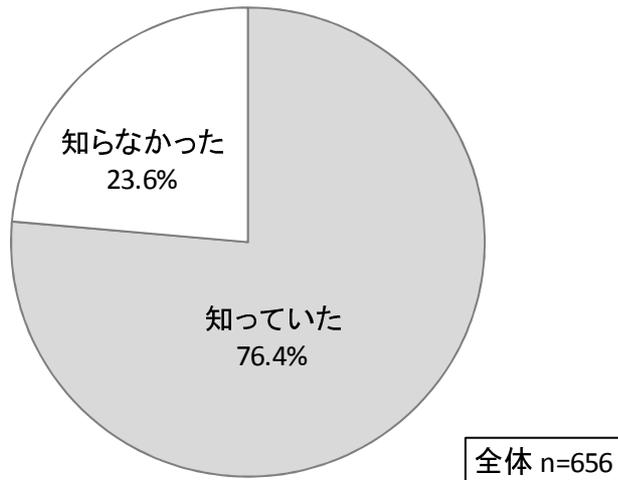
(生涯学習部花火伝統文化継承資料館)

- ◆ 調査目的： 花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」は、大仙市花火産業構想第Ⅰ期に掲げる取り組みにおいて、花火の文化的価値の向上と花火の伝統文化を将来にわたる地域資源として継承・発信していく拠点として整備し、平成30年8月に開館した。「はなび・アム」の利用状況等を調査し、今後の施設運営の参考とする。

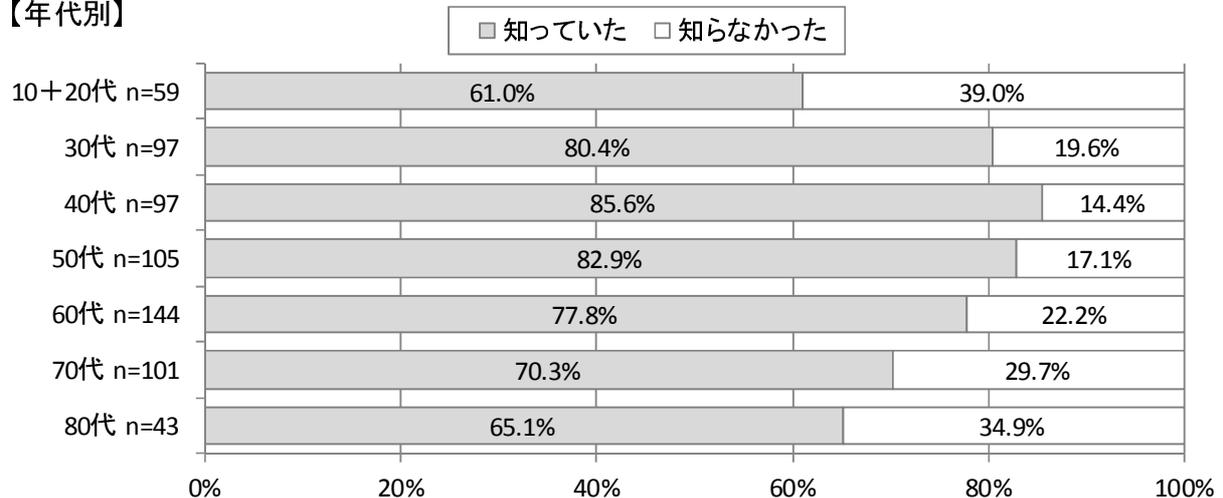
**【問1】花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」を知っていましたか。**

- 全体では、「知っていた」と回答した方が76.4%となっており、8割近くを占めている。
- 年代別で見ると、「知っていた」と回答した方の割合は40代が85.6%で最も大きく、10代と20代を合わせた年代が61.0%で最も小さくなっている。また、40代までは年代が上がるにつれて増加しているが、40代以降は減少している。
- 地域別で見ると、「知っていた」と回答した方の割合は仙北地域の89.8%が最も大きく、次いで大曲地域が86.8%となっている。一方、最も小さかったのは協和地域の51.9%であり、約半数が「知らなかった」と回答している。

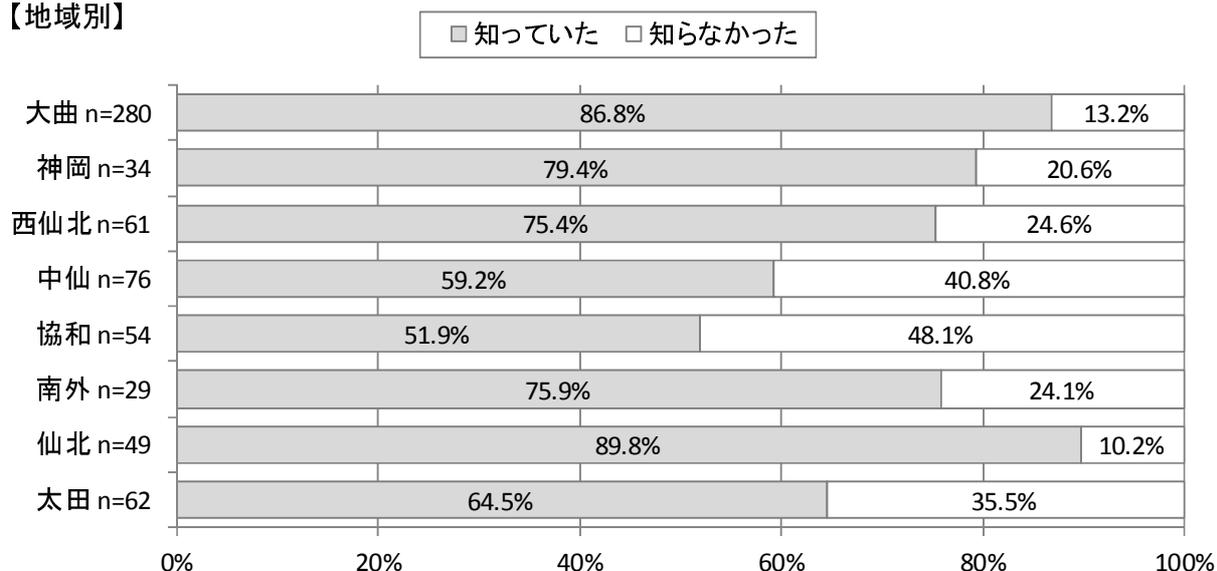
**【全体】**



**【年代別】**



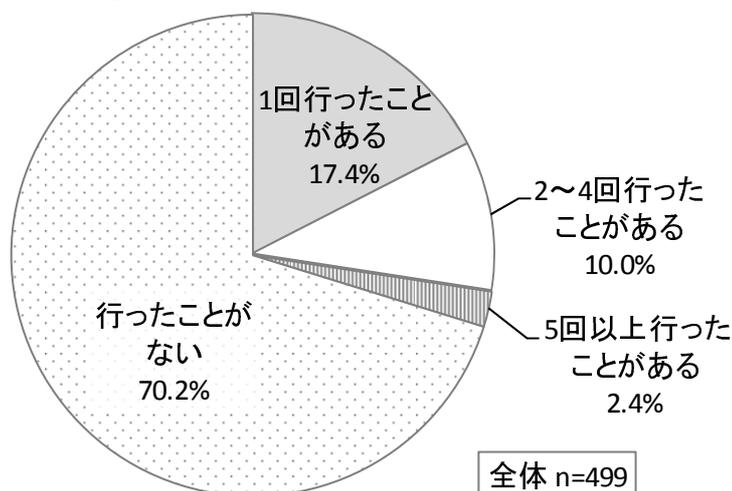
【地域別】



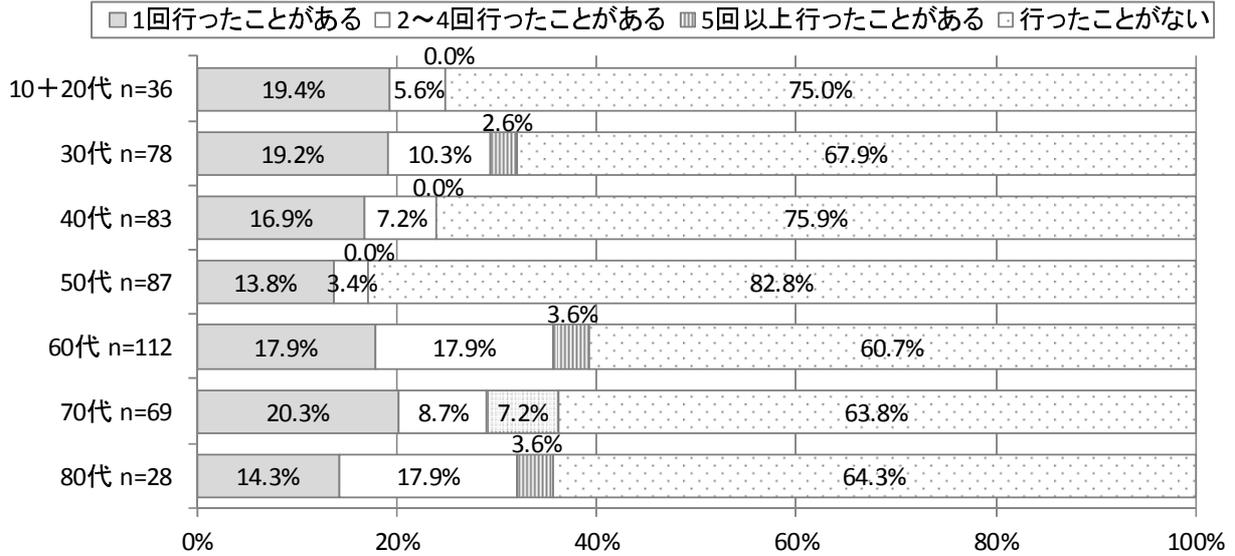
【問2】3・4階の「花火資料館エリア」をご覧になるために「はなび・アム」を訪れたことはありますか。また、訪れたことがある場合は、何回来館されましたか。  
(問1で「1. 知っていた」と回答した方)

- 全体では、「行ったことがない」と回答した方が70.2%で最も多く、7割以上を占めている。また、「行ったことがある」と回答した方の中で最も多かったのは「1回行ったことがある」の17.4%で、「行ったことがある」と回答した方の中では6割近くを占めている。
- 年代別で見ると、全ての年代で「行ったことがない」と回答した方が最も多くなっているが、60代以上の年代では、割合が小さくなっている。また、来館した回数についても、「1回行ったことがある」の割合は年代別であまり大きな差は見られないが、「2～4回行ったことがある」または「5回以上行ったことがある」の割合は60代以上の年代では、50代以下の年代に比べて大きくなっており、60代以上にリピーターが多いことがわかる。
- 地域別で見ると、全ての地域で「行ったことがない」と回答した方が最も多くなっている。「行ったことがある」と回答した方の割合は仙北地域が36.4%で最も大きく、次いで大曲地域が34.3%となっている。また、「行ったことがある」と回答した方の中で最も多かったのは、全ての地域で「1回行ったことがある」の回答となっている（神岡地域は「2～4回行ったことがある」と同率）。

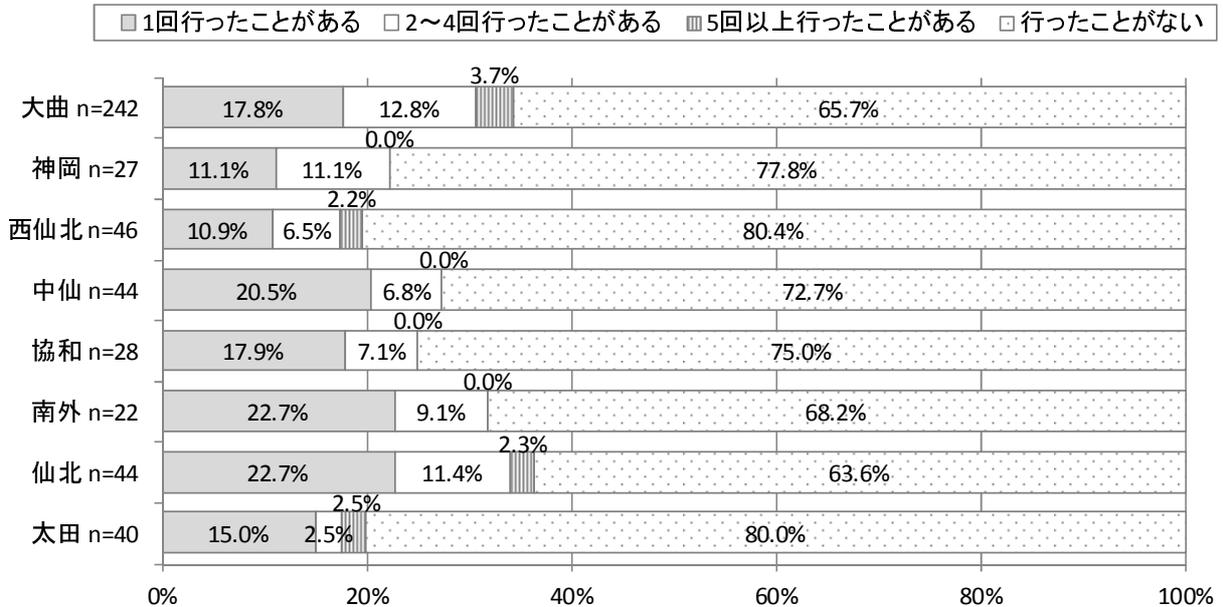
【全体】



【年代別】



【地域別】



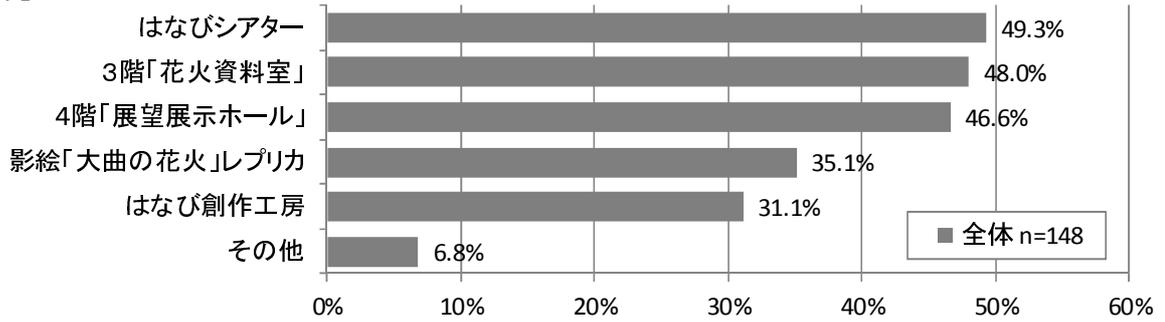
【問3】来館された際に、印象に残ったところはどこですか。（3つまで）

（問2で「1. 1回行ったことがある」～「3. 5回以上行ったことがある」と回答した方）

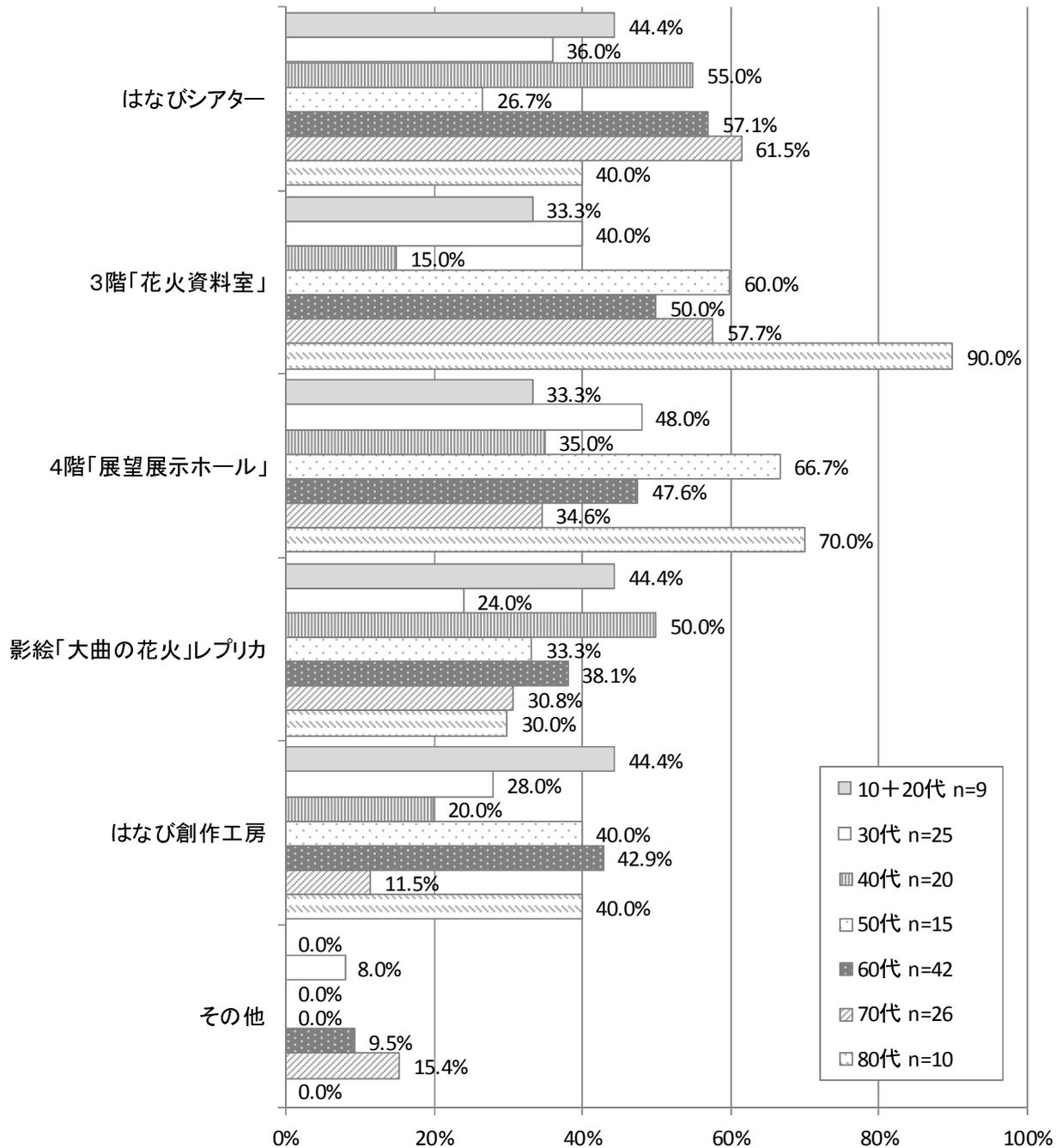
○全体では、「はなびシアター」と回答した方が49.3%で最も多く、次いで「3階「花火資料室」」が48.0%、「4階「展望展示ホール」」が46.6%となっている。

○年代別で見ると、あまり傾向は見られないが、最も多く回答しているものとして「はなびシアター」を回答している年代が最も多く、次いで「4階「展望展示ホール」」となっている。また、「3階「花火資料室」」については、50代以上になると半数以上の方が回答しており、割合は80代が突出して最も大きく、90.0%となっている。

【全体】



【年代別】



■その他の回答

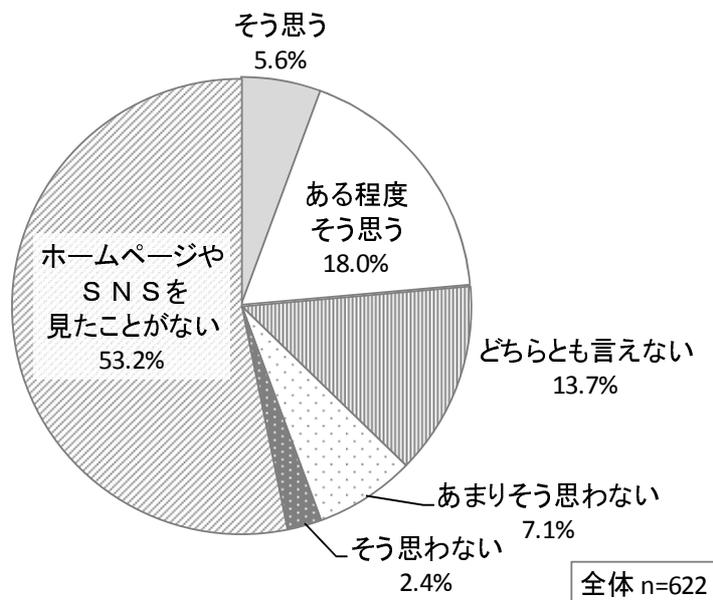
- 研修室（70代／男性／西仙北）
- なぜ入館料が無料なのか。維持のためにも徴収すべきではないのか。（60代／女性／大曲）
- 1F フリースペース（30代／女性／大曲）
- サークル活動（60代／男性／大曲）
- 会議（70代／男性／協和）
- 何回も行きたいと思わない。（70代／女性／大曲）
- 印象に残らなかった（30代／男性／中仙、60代／男性／大曲）

【問4】「はなび・アム」のホームページやSNS（facebook・twitter）では、来館案内の他に、花火や展示に関するお知らせ、周辺店舗の紹介などをしていますが、内容は充実していると思いますか。

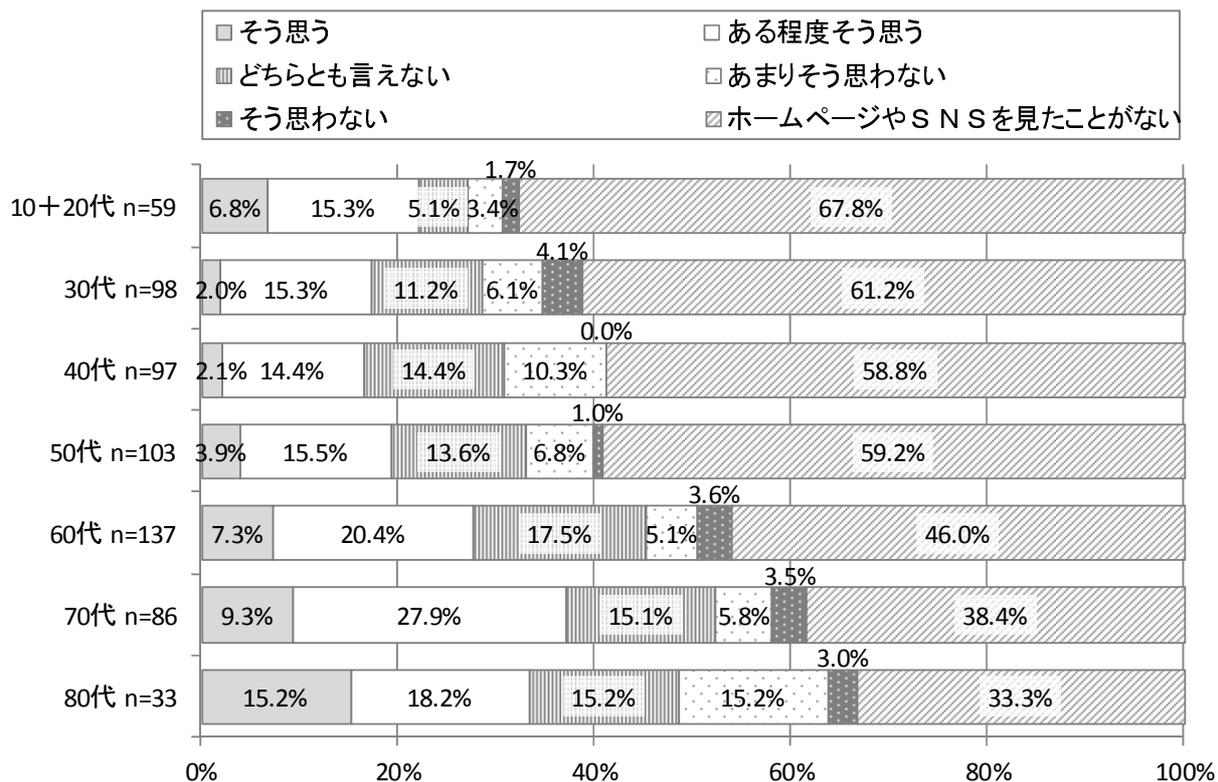
○全体では、「ホームページやSNSを見たことがない」と回答した方が53.2%で最も多く、半数以上の方が見たことがないと回答している。

○年代別で見ると、全ての年代で「ホームページやSNSを見たことがない」と回答した方が最も多くなっているが、割合は年代が上がるにつれて小さくなっている。また、「ホームページやSNSを見たことがない」以外を回答した人の中で「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた割合が最も大きいのは10代と20代を合せた年代となっており、7割近くを占めている。

【全体】



## 【年代別】

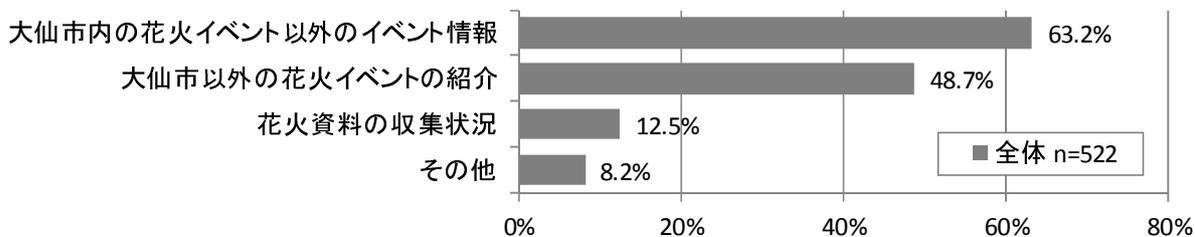


【問5】「はなび・アム」のホームページやSNS上で他にお知らせしてほしい情報などがありますか。（複数回答可）

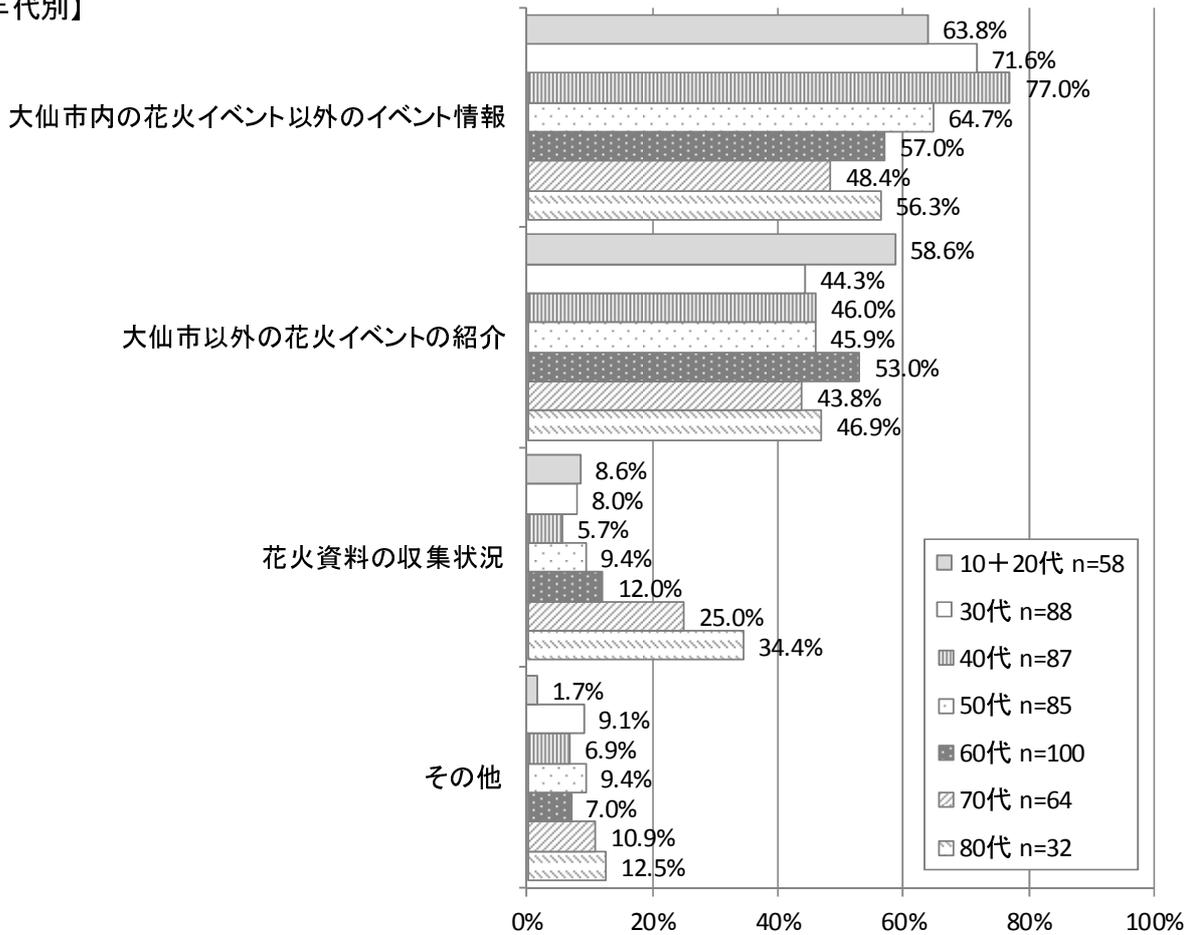
○全体では、「大仙市内の花火イベント以外のイベント情報」が63.2%で最も多く、次いで「大仙市以外の花火イベントの紹介」が48.7%、「花火資料の収集状況」が12.5%となっている。

○年代別で見ると、全ての年代で「大仙市内の花火イベント以外のイベント情報」と回答した方が最も多くなっている。また、「花火資料の収集状況」については、40代以上は年代が上がるにつれて割合が大きくなっている。

## 【全体】



【年代別】



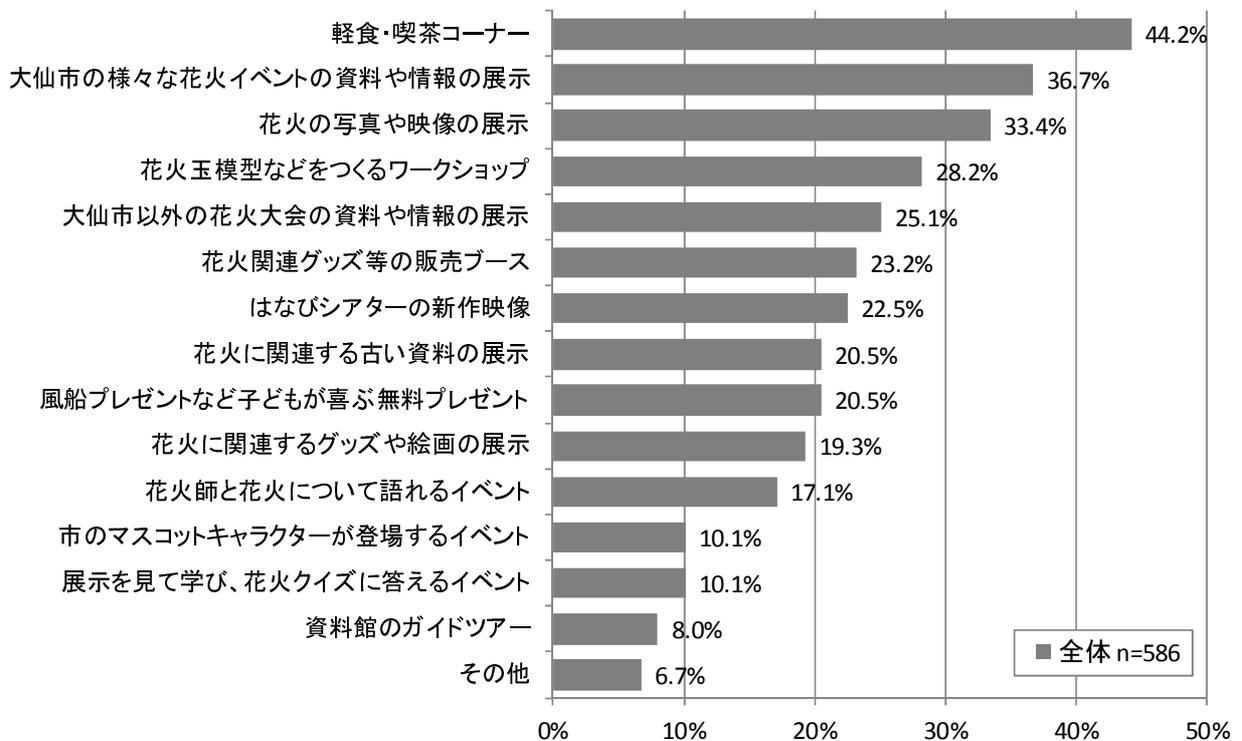
■その他の回答

- 花火鑑賞士試験について、早くから日程などの案内や、紹介リンクがあると良いと思います。(30代/男性/大曲)
- 日本国内の花火大会やイベントと大仙市で実施している花火イベントとの比較。写真や動画をふんだんに使い、これだけスゴイとアピールして欲しい。(年齢・性別・地域不明)
- この花火は何の花火がわからないことが多いので、すべて(音だけでも)紹介してほしい。(50代/男性/大曲)
- 見る方法がわからない(70代/男性/大曲)
- 今日、今晚の花火は何の花火なのかお知らせいただきたい。よく上がっているが何の(大会なのか、祭りなのか、その他)花火なのか分からないため。(60代/男性/大曲)
- 花火に関わる回数が多すぎる。(80代以上/男性/中仙)
- 花火に関する豆知識など。(20代/男性/大曲)
- 花火資料館ですが、ほかの地域のイベントも紹介していますか。(60代/女性/太田)
- 花火以外にも大仙市にはこんなことがあるよという特設コーナー(40代/女性/南外)
- 観光と結び(30代/女性/神岡)
- 花美と考えると、桜の見どころや情報等(50代/女性/中仙)
- 花火のPRを目的とした施設ではあると思うが、花火と関係のないことも考えてもよいのではないか。全国各地の物産販売など。(60代/男性/大曲)
- 大仙市内のイベント情報詳しく(60代/女性/中仙)
- HPやSNS以外での情報発信も必要かと思います。(70代/女性/神岡)

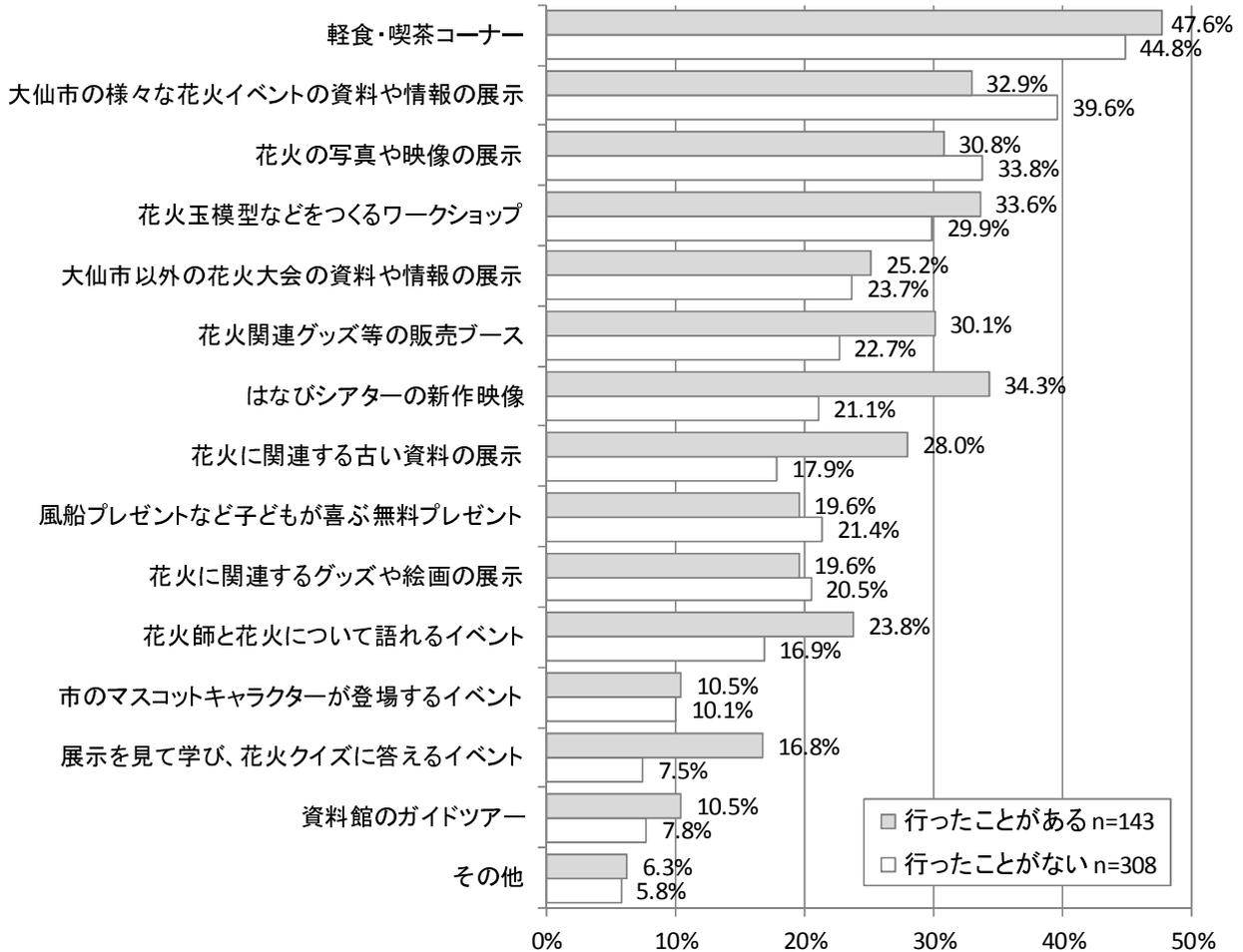
**【問6】 どのような展示や催し物などがあれば「はなび・アム」に行ってみたいと思いますか。  
(複数回答可)**

- 全体では、「軽食・喫茶コーナー」と回答した方が44.2%で最も多く、次いで「大仙市の様々な花火イベントの資料や情報の展示」が36.7%、「花火の写真や映像の展示」が33.4%となっている
- 問2の来館の有無別で見ると、行ったことがあると回答した方が全体的に割合が多くなっている。特に「花火関連グッズ等の販売ブース」、「はなびシアターの新作映像」、「花火に関連する古い資料の展示」、「花火師と花火について語れるイベント」、「展示を見て学び、花火クイズに答えるイベント」は、行ったことがないと回答した方との差が比較的大きくなっている。
- 年代別で見ると、最も多く回答しているものとして「軽食・喫茶コーナー」を回答している年代が最も多くなっている。
- また、若い世代では「花火玉模型などをつくるワークショップ」や「風船プレゼントなど子どもが喜ぶ無料プレゼント」など、子どもも楽しめる内容の回答が多くなっている。一方、シニア世代では「大仙市の様々な花火イベントの資料や情報の展示」や「花火の写真や映像の展示」、「大仙市以外の花火大会の資料や情報の展示」など、展示内容の充実を求める回答が多くなっている。

**【全体】**

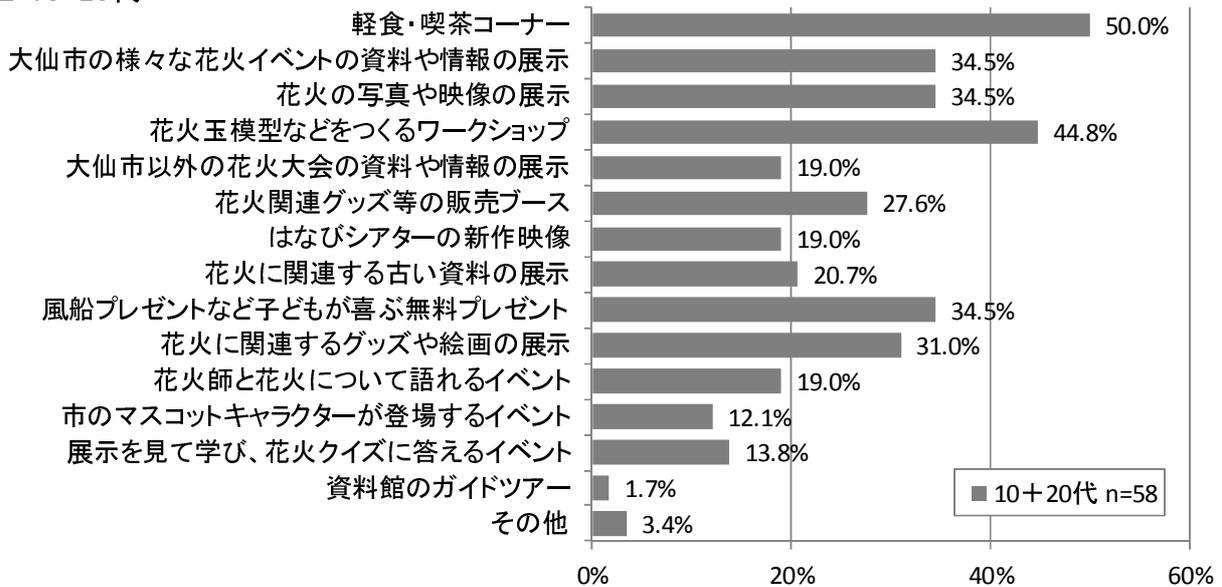


【問2 来館の有無別】

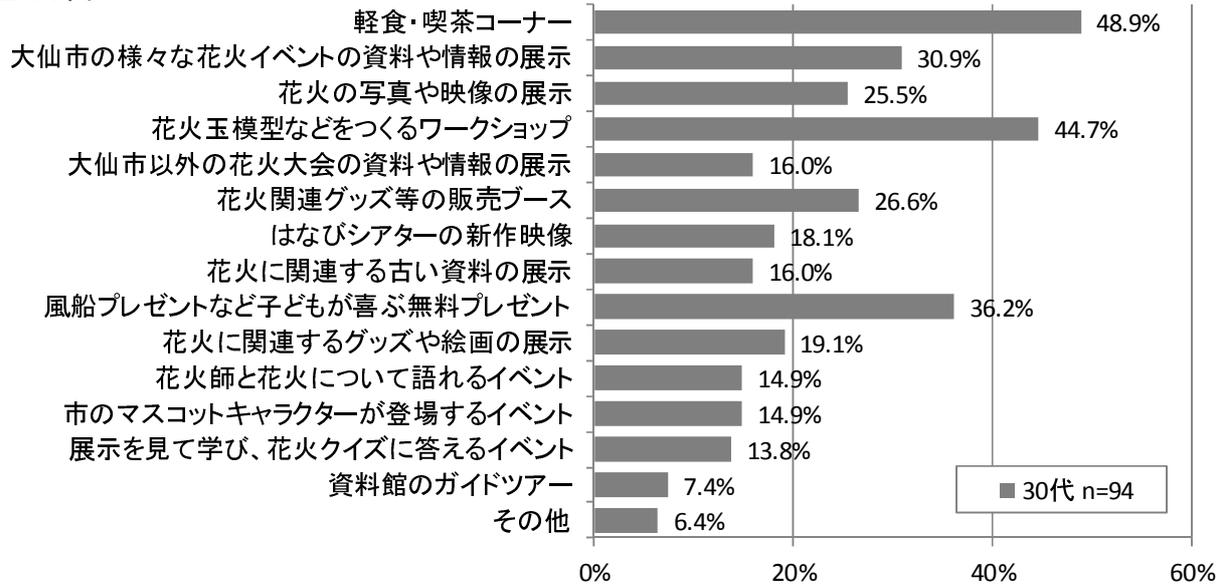


【年代別】

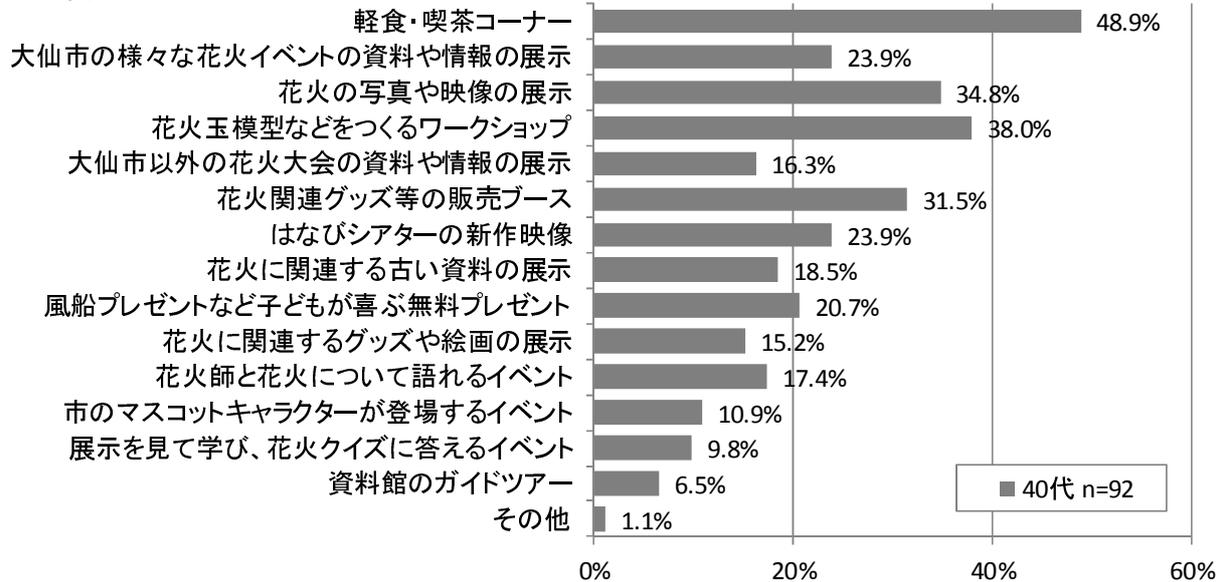
■ 10+20代



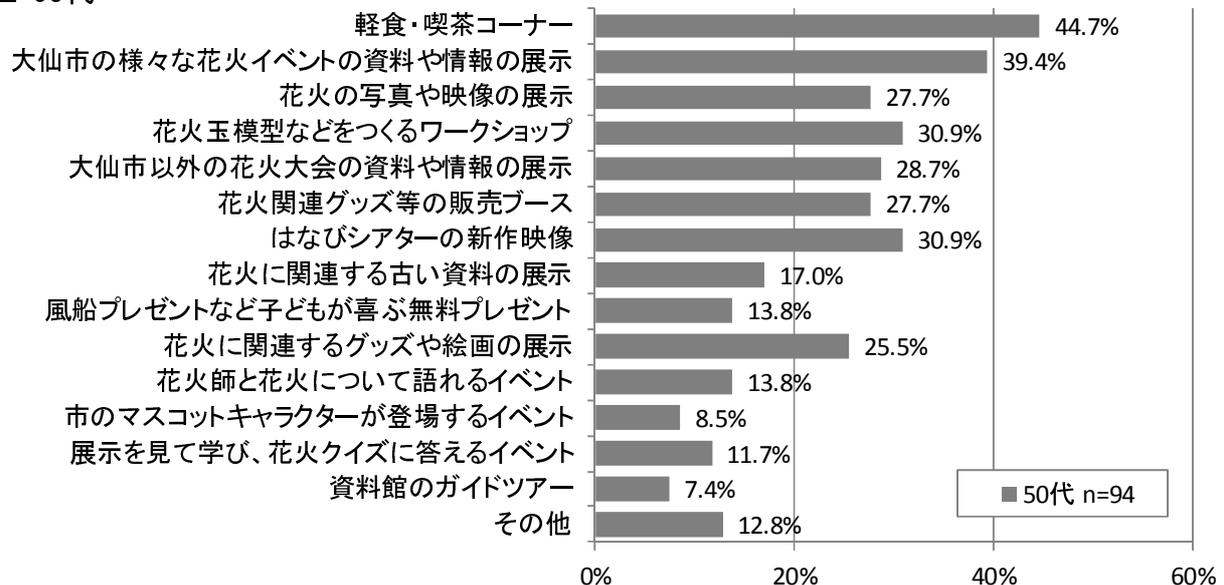
■ 30代



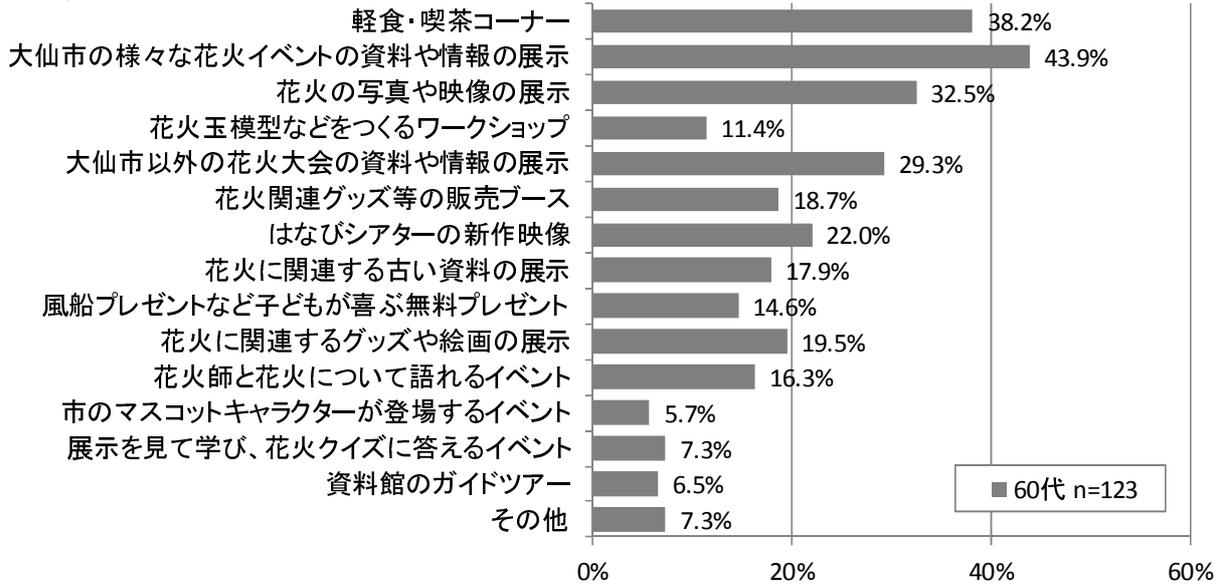
■ 40代



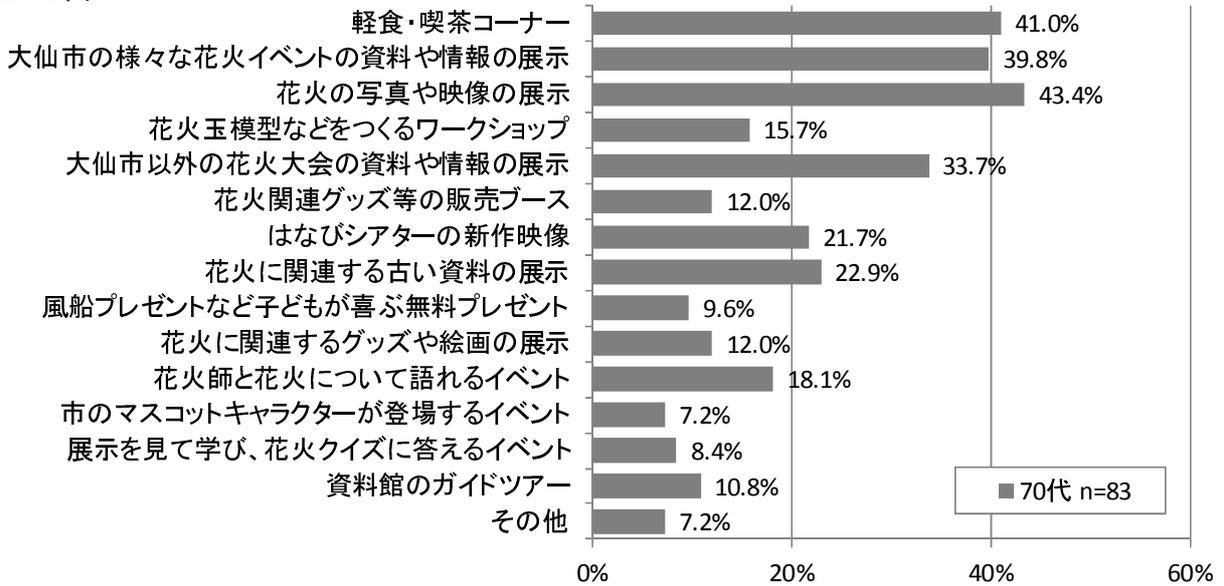
■ 50代



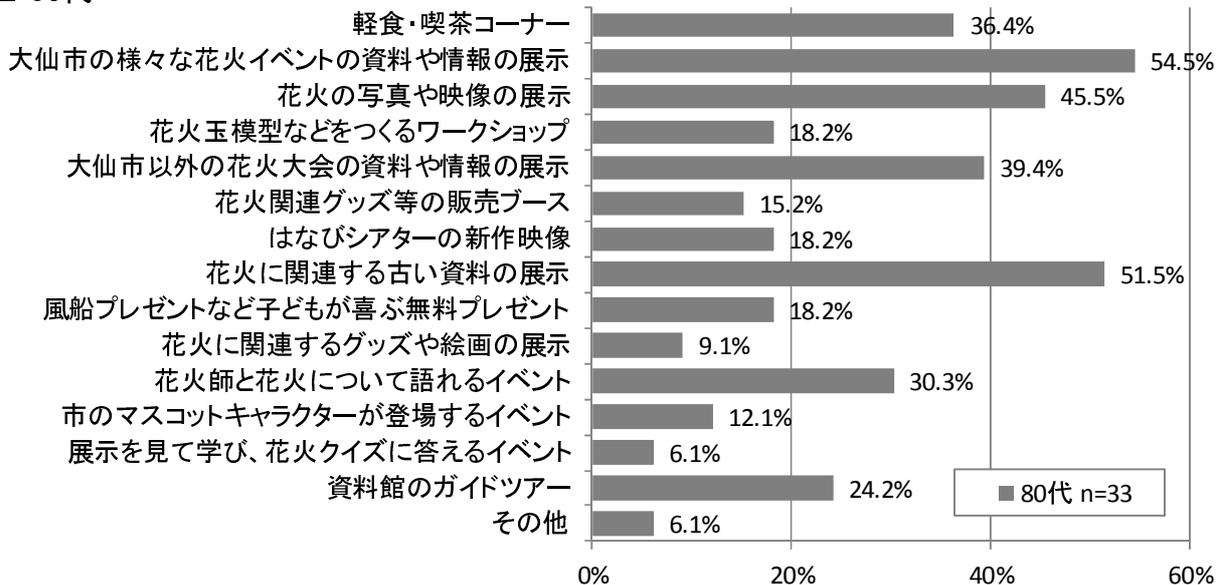
■ 60代



■ 70代



■ 80代



## ■その他の回答

- 子供の遊び場 (20代/女性/太田)
- はなびアムでしか買えない限定グッズ (50代/男性/神岡)
- いつの間にか住民税がとられていて作られていたので、行かないがせっかく作ったのなら無駄にせずキッズスペースとか子育て世代が行ってみたいと思うようなものにしたらどうか。(20代/女性/大曲)
- 花火の映像・写真・子供の絵のコンクールを毎年行う。四季による花火大会に合わせた軽食メニューを変えて提供。小学生の社会見学の場所にする。(市内の子、秋田県内の子たち) (50代/女性/大曲)
- 4階からの市街の展望がすばらしく、コーヒーでもすすりながら、ゆっくりおしゃべりしたりして眺めていたいと思った。(70代/女性/仙北)
- VRゴーグル+スーパーウファーで感じる花火体験 (60代/男性/大曲)
- 花火デザインのネクタイピンやアクセサリ等の展示、販売など。(60代/男性/太田)
- 本物の花火玉を作るところを見学させる。実際に花火を打ち上げる体験をする。(60代/男性/仙北)
- 展示品が少なく、素通りして終わる感じがあまり魅力がない。(70代/女性/大曲)
- 何をやっても行きたいと思わない。県外からのツアー等に組み込んでもらえれば少しでも見ていただけるのでは。(30代/男性/中仙)
- 花火は、季節、場所、風景などにマッチングして魅力が出る。そのため、資料館に何を望むか難しい。(50代/女性/中仙)
- そもそも資料館には興味がない。花火は屋外で見て楽しむもの。(60代/女性/協和)
- 一度行った人が何度も行きたくなる様な楽しい資料館にする工夫が必要だと思うがよくわかりません。考え中です。(50代/女性/中仙)
- 見学者が少ない、寂しい、衰退してしまうのでは。(60代/女性/太田)
- ターゲットにする年代による (30代/男性/大曲)
- 花火大会の歴史 (30代/男性/中仙)
- マンガやゲームなど花火をテーマにしたものとのコラボ (30代/男性/仙北)
- 道の駅で行っているような野菜等の並売などで日常的に人が入る環境を作る。または、定期的に市場やフリーマーケットなどを行い、資料館の存在を忘れさせないイベントを作る。(50代/男性/大曲)
- 花火以外の芸術、企画展の開催 (30代/男性/大曲)
- なぜこの市は花火をこんなにおし進めているのかがあまりわからない。大概の人には花火は自分の利益にならない。(50代/男性/中仙)
- 手持ち花火など子供の頃遊んだ花火の再現。なつかしいから・・・ (50代/女性/神岡)
- 花火を観光の目玉にしても先が見えない。もっと現実をかえたほうがいい。今のところ、心に残らない。(60代/男性/中仙)
- 音の出ない花火(夜うるさい) (60代/男性/西仙北)
- 花火関連に限らず、大仙市のお土産コーナー (50代/男性/協和)
- 気分転換のため (60代/女性、30代/女性)

◆調査結果まとめ及び今後の方針

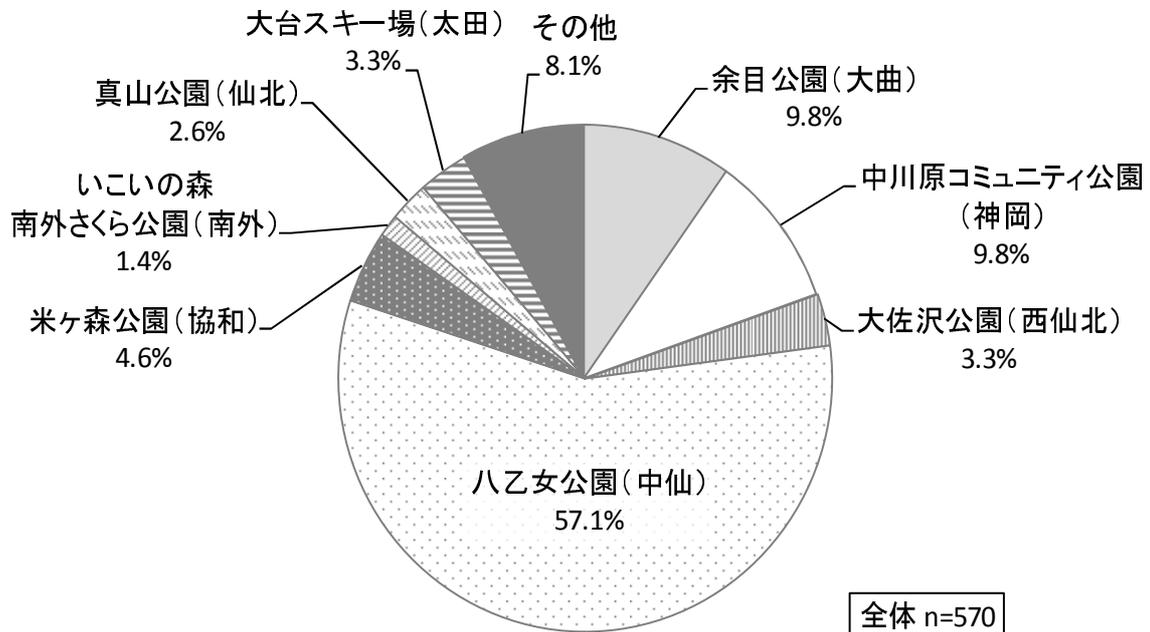
- 問1で花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」を知っていたと回答した方は76.4%となっており、あらゆる年代に周知されたとは言えないが、全体の認知度としては、それほど低いわけでもない。しかし、問2で3・4階の花火資料館エリアを見学するために「はなび・アム」に行ったことがあると回答した方は29.8%に留まっており、「はなび・アム」を知ってはいるものの、来館していない方が多くいる結果となっている。今後は、問3の来館時に印象に残ったところや問6の行ってみたいと思うような展示等の回答を参考に、まだ来館していない方への来館してもらうきっかけづくりについて検討していく必要がある。
- 問4で「はなび・アム」のホームページやSNSを見たことがないと回答した方は53.2%となっており、半数以上の方が見たことがないと回答しているため、今後、より一層PRに力を入れていく必要があり、ホームページやSNSの他、様々な媒体を活用し、多くの方に来館いただけるよう、効果的なPRを検討・実施していく必要がある。
- 「はなび・アム」のホームページやSNSでは大仙市内の花火情報や館内の展示の紹介をしているが、問5で他にお知らせしてほしい情報を尋ねたところ、「大仙市内の花火以外のイベント情報」が63.2%、「大仙市以外の花火イベントの紹介」が48.7%となっている。今後は花火全般の情報に加え、市の観光施設のひとつとして、市内の花火以外のイベント等についても情報発信することが必要である。
- 問2の結果のとおり、「はなび・アム」へ来館したことがある方の回数は6割近くが1回のみとなっており、リピーターの確保も課題となっている。問6で行ってみたいと思うような展示等を伺ったところ、年代によりその内容も異なるため、若い世代には、子どもも楽しめるワークショップやイベント、シニア世代には古い資料の展示等、ターゲットを絞るなどニーズに沿った企画や展示についても検討していきたい。

- ◆ 調査目的: 中仙地域では、市を代表する桜の観光地としての確立と地域の活性化を図るため、「なかせん千本桜プロジェクト」を計画し、桜の植樹などによる桜の再生や八乙女山、県道、斉内川堤、道の駅からなる「なかせん千本桜エリア」を拠点とした観光の振興に取り組んでいる。本調査ではプロジェクトの認知度や地域の桜や桜まつりに関するご意見を伺い、今後、効果的に観光PR事業を展開していくための参考とする。

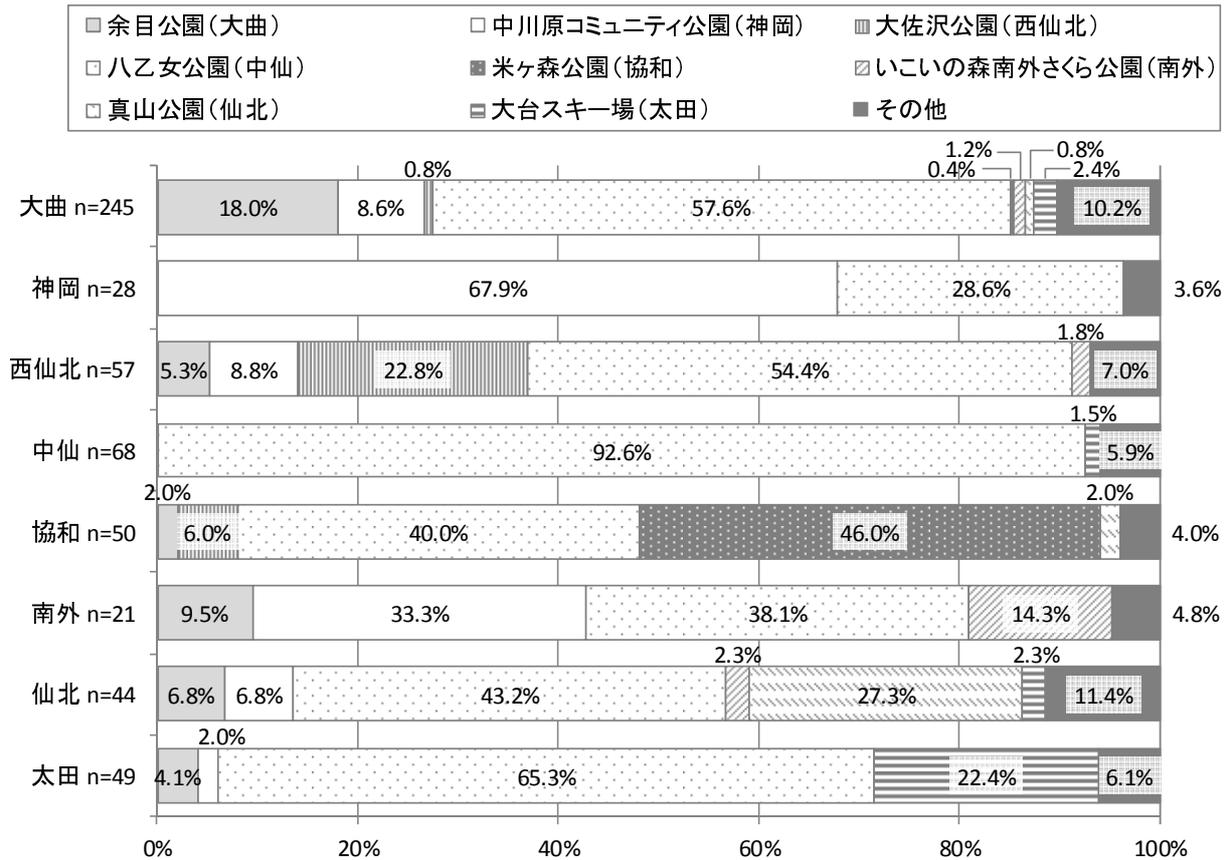
【問1】市の「桜の名所」といえばどこを思い浮かべますか。

- 全体では、「八乙女公園」と回答した方が57.1%で最も多くなっており、6割近くを占めている。
- 地域別で見ると、神岡、協和地域以外の全ての地域で「八乙女公園」が最も多くなっている。神岡、協和地域については、自地域の名所が最も多くなっているが、次いで多いのはどちらも「八乙女公園」となっている。

【全体】



【地域別】



■その他の回答

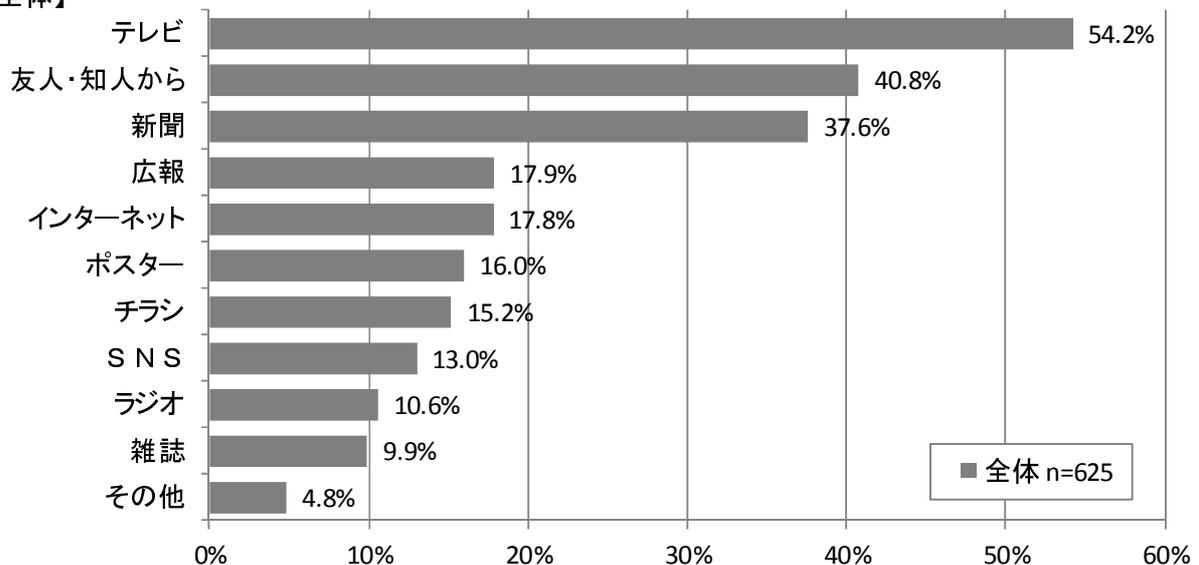
- 道の駅なかせんの土手 齊内川 (30代/女性/太田、40代/男性/中仙、50代/女性/中仙)
- あげぼの町河川敷 (30代/男性/大曲)
- 太田南小学校 (60代/女性/太田)
- 松山公園 (60代/女性/大曲、70代/男性/大曲)
- 大仙市役所周辺 (20代/男性/大曲、30代/女性/大曲、30代/女性/仙北、40代/男性/大曲、50代/女性/大曲、60代/女性/大曲 2名)
- 姫神公園 (20代/男性/大曲)
- 桂公園 (60代/女性/大曲)
- 旧峰吉川小学校の下 (30代/男性/協和)
- 畜産試験場 (50代/男性/西仙北)
- ふれあいパーク (南外) (70代/女性/南外)

【問2】桜を見に行くとき、何から情報を得て行きますか。（複数回答可）

○全体では、「テレビ」と回答した方が54.2%で最も多く、次いで「友人・知人から」が40.8%、「新聞」が37.6%となっている。

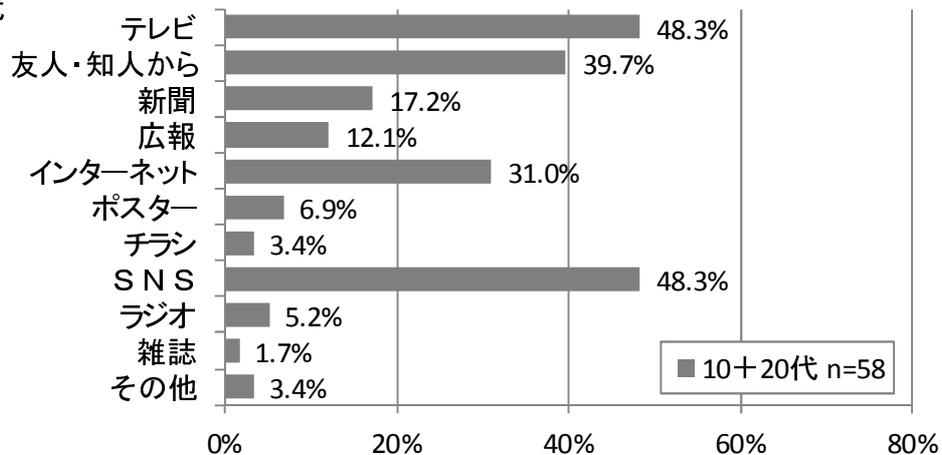
○年代別で見ると、80代以外は「テレビ」と回答した方が最も多く、10代と20代を合わせた年代では「SNS」、30代では「友人・知人から」も同じく最も多くなっている。80代については「友人・知人から」が最も多くなっている。また、「新聞」、「広報」、「チラシ」、「ラジオ」では年代の高い方が、「インターネット」、「SNS」では年代の低い方が割合が大きくなっている。

【全体】



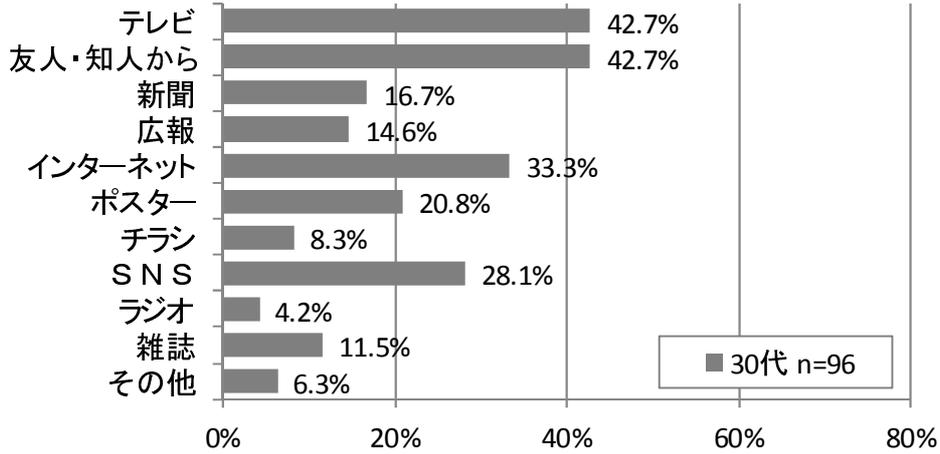
【年代別】

■ 10+20代

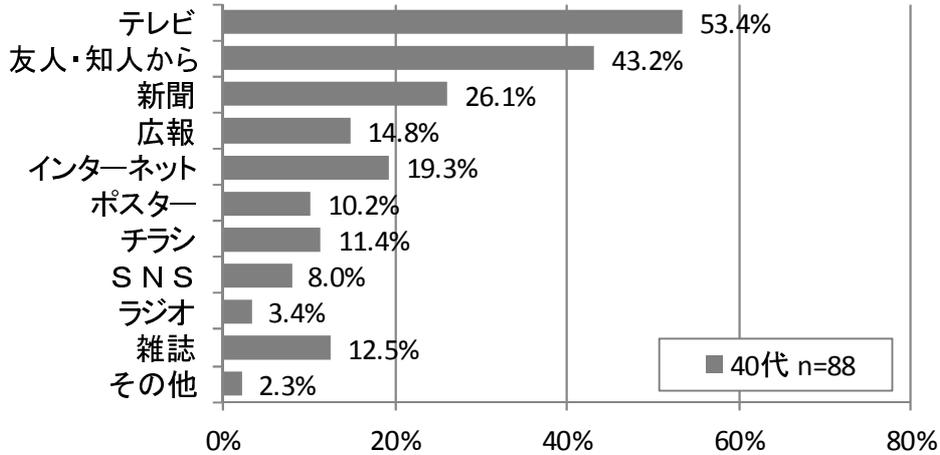


3. 1. 4 個別事業評価「なかせん千本桜プロジェクトについて」

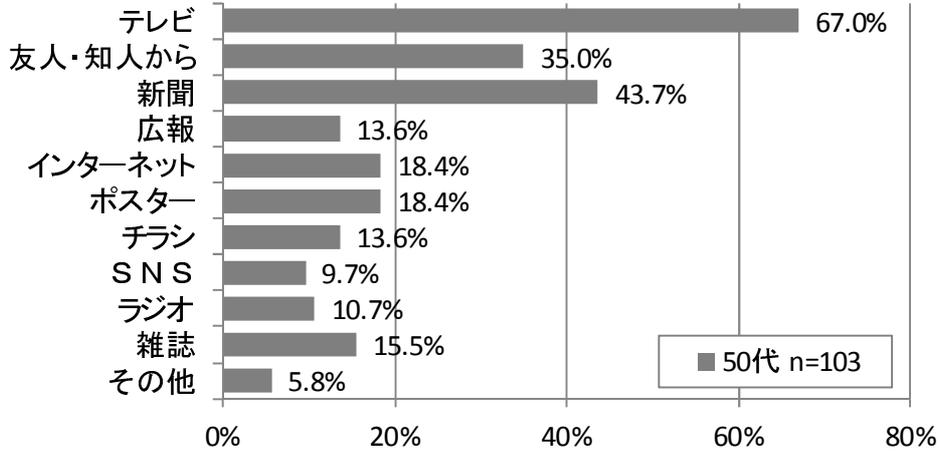
■ 30代



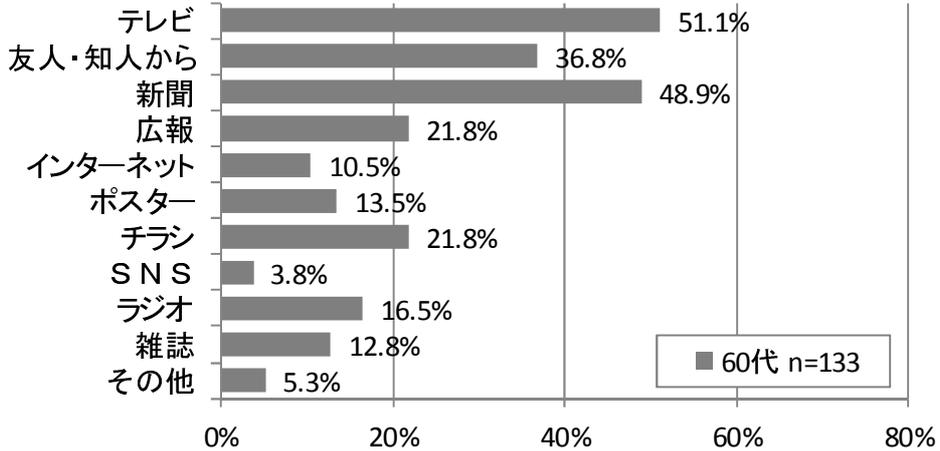
■ 40代



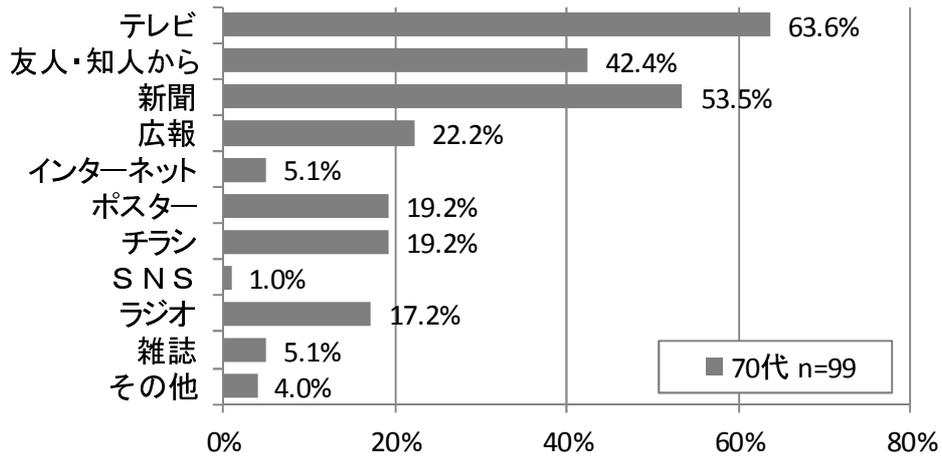
■ 50代



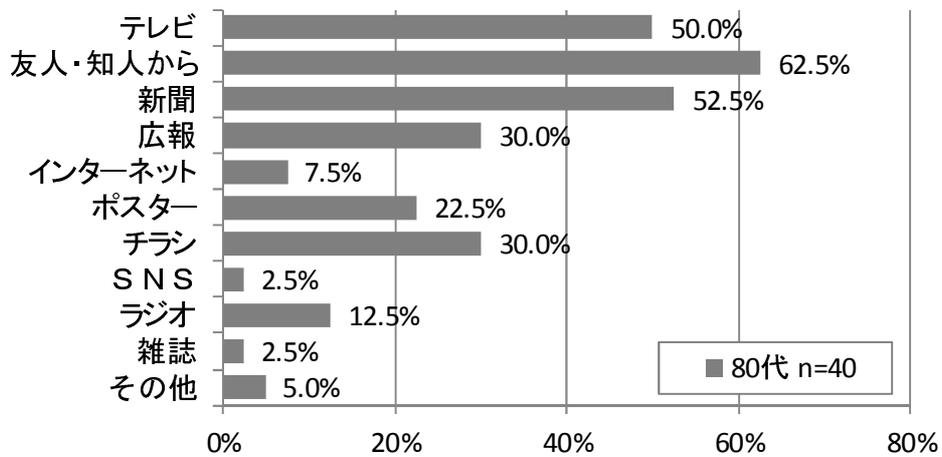
■ 60代



■ 70代



■ 80代

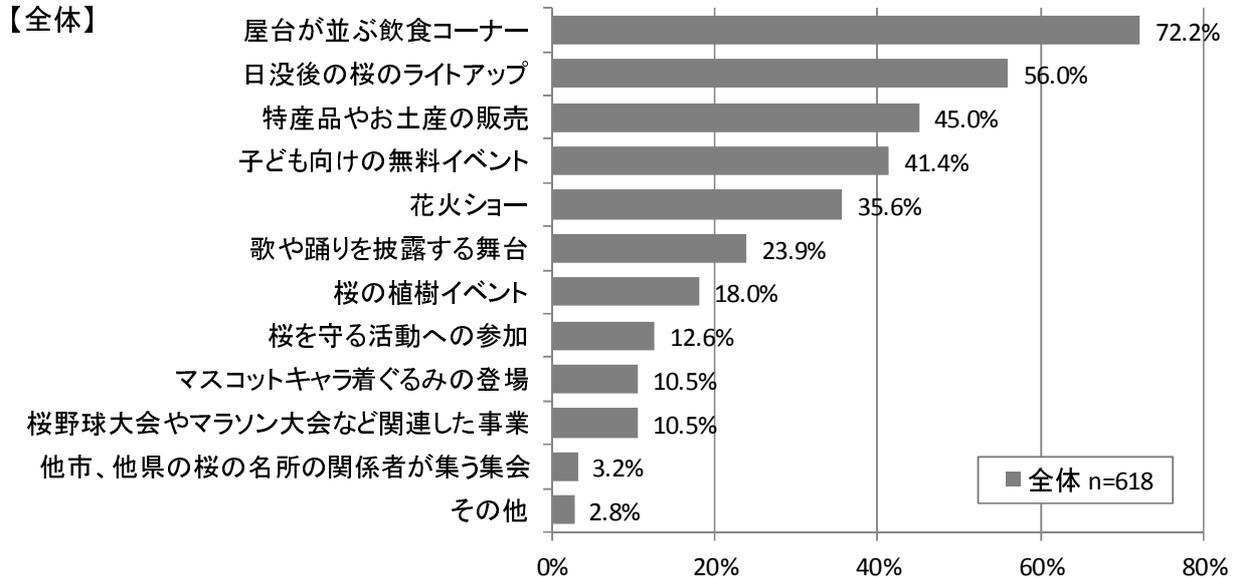


■ その他の回答

- 近所の桜の開花状況 (30代/男性/大曲、60代/男性/大曲、70代/女性/大曲)
- 自分の判断 (20代/男性/大曲、60代/男性/中仙、60代/女性/大曲、80代以上/男性/中仙)
- 通りがかりに見る (30代/男性/協和、30代/女性/大曲、40代/男性/中仙、50代/男性/大曲、50代/女性/中仙)
- 桜の時期になったなと思い出かける (60代/男性/中仙、60代/女性/中仙)
- 天気 (30代/男性/大曲)
- 地元 (30代/男性/大曲)
- その時の仕事の都合 (70代/男性/大曲)

【問3】桜まつりにより多くの方から訪れていただくためには、どのようなイベントなどが必要だと思いますか。（複数回答可）

○全体では、「屋台が並ぶ飲食コーナー」が72.2%で最も多く、次いで「日没後の桜のライトアップ」が56.0%、「特産品やお土産の販売」が45.0%となっている。



#### ■ その他の回答

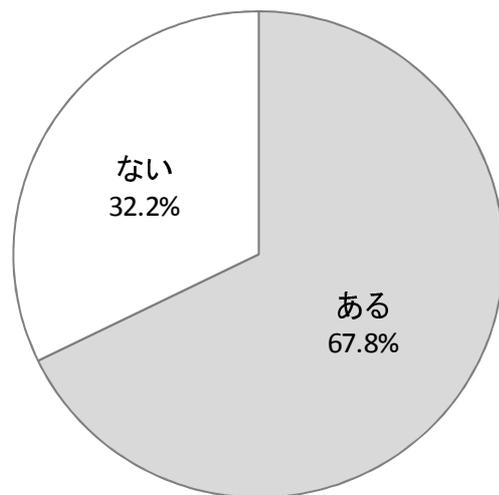
- 無料の駐車場（50代／男性／大曲）
- 駐車スペースや道幅拡大するなど（50代／女性／大曲）
- 角館=桜のイメージをまず超えないといけない。（20代／女性／大曲）
- 「屋台が並ぶ飲食コーナー」については多くは必要ないと思います（60代／男性／仙北）
- 桜の花のみで良いのではないか（60代／男性／大曲）
- 11項目はどこでもやっています。私も思いつかないが何かあると思う。（70代／女性／大曲）
- 角館とのコラボ（30代／男性／中仙）
- ゲストをよんでトークショー（参加者ありで）ゲストと市民と一緒に何かをする（40代／女性／大曲）
- いわゆる「映える」特別な景観（30代／女性／大曲）
- 八乙女の下の道路の並木がとてもきれいです。ベンチか駐車スペースがあればいいです。（60代／女性／中仙）
- トイレの整備（60代／男性／神岡）
- サブカルチャーなど若い人がくる物、他県から人を呼べないとだめ（30代／男性／大曲）
- 楽しんで桜を観ながら歩ける散歩コースを作る（50代／男性／大曲）
- 桜とパンジーやネモフィラ、菜の花など、より一層楽しめること。規模の拡大と上から桜や他の花を見るのもステキだと思う。（50代／女性／神岡）
- 桜の期間はせいぜい一週間。桜が売りなのではなく、花火が売りなのではなく人は人によって感動を味わうのでは。（60代／男性／中仙）
- 飲食以外の屋台コーナー（40代／女性／大曲）

【問4】花見を目的に「八乙女公園」を訪れたことはありますか。

○全体では、「ある」と回答した方が67.8%となっており、7割近くが八乙女公園を訪れたことがあると回答している。

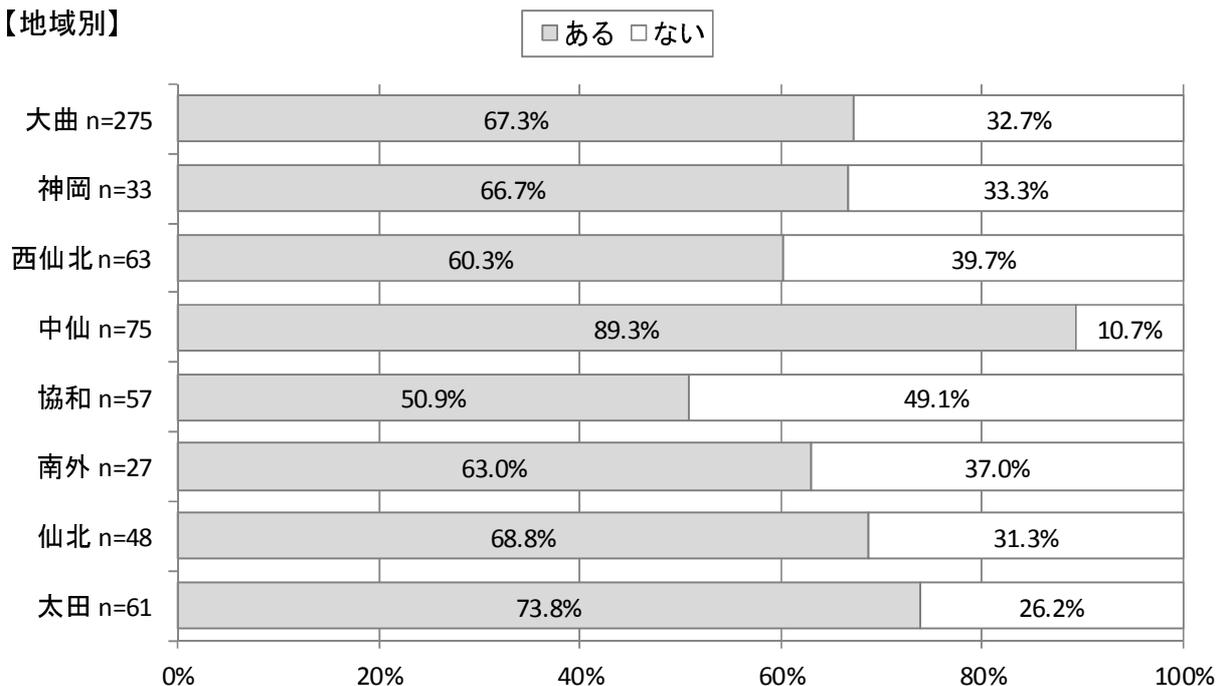
○地域別で見ると、全ての地域で「ある」と回答した方が多くなっており、最も割合が小さい50.9%の協和地域以外は全て6割以上を占めている。最も割合が大きい地域は89.3%で中仙地域となっている。

【全体】



全体 n=649

【地域別】

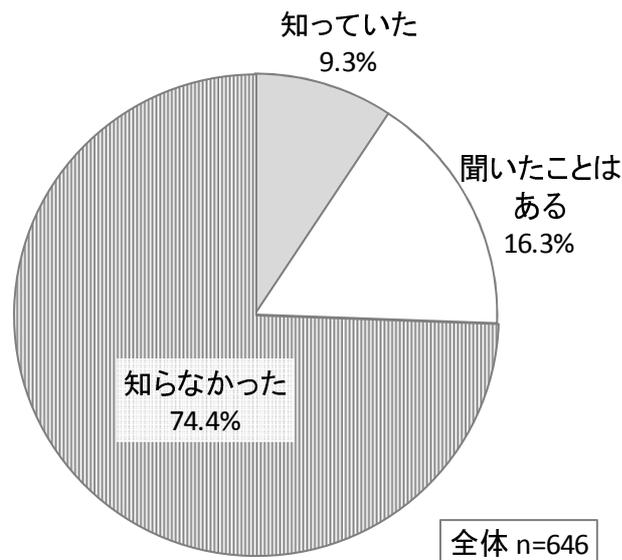


**【問5】「なかせん千本桜プロジェクト」を知っていましたか。**

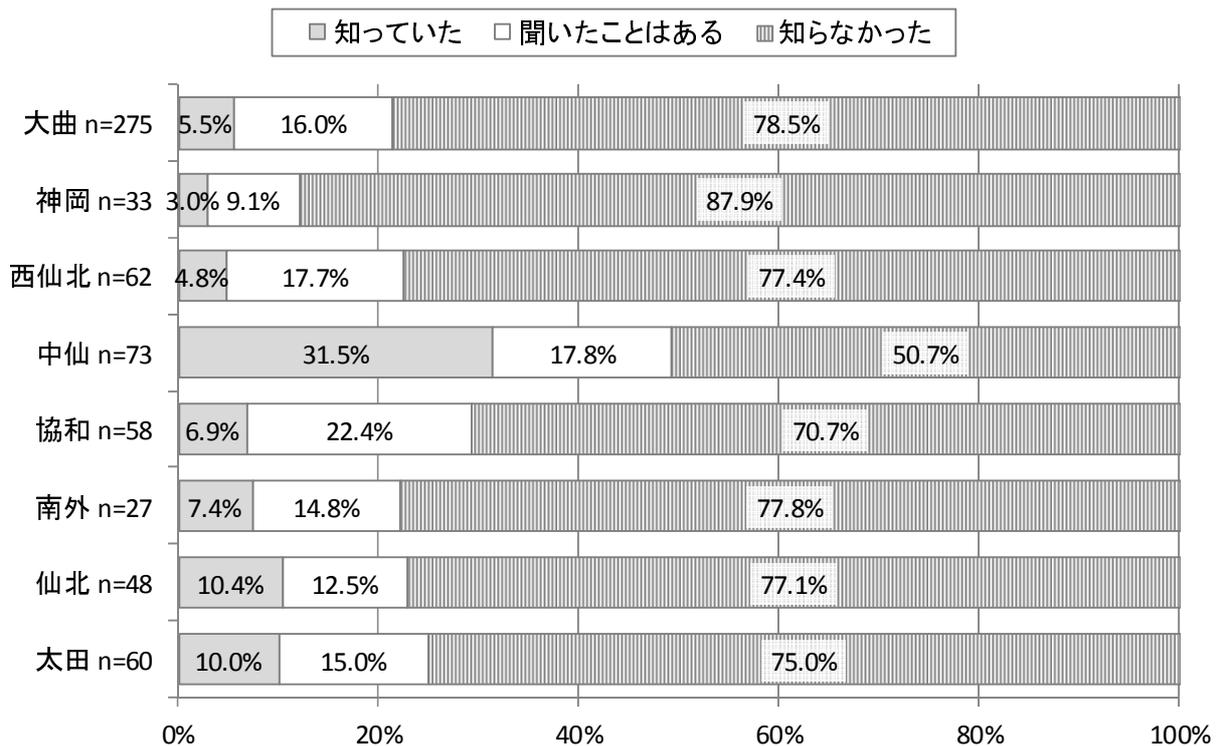
○全体では、「知らなかった」と回答した方が74.4%で最も多く、「知っていた」と回答した方は9.3%となっており、1割を下回っている。

○地域別で見ると、全ての地域で「知らなかった」と回答した方が最も多くなっており、中仙地域以外は7割以上を占めている。中仙地域でも50.7%となっており、約半数が「知らなかった」と回答している。一方、「知っていた」と回答した方の割合が最も大きいのは中仙地域の31.5%となっているが、認知度は低く、中仙地域以外では、多い地域でも1割程度となっている。

**【全体】**



**【地域別】**



【問6】地域の桜や桜まつりについて、ご自由にご意見をお書きください。（自由記述形式）

※主要な回答を抜粋しています

□イベント関係について

- ・ 出店をいっぱい出してほしい。老若男女が楽しめるイベントがあればいいと思う。（20代／女性／神岡）
- ・ 桜の苗木をプレゼントしてもらえたらうれしい。（40代／男性／中仙）
- ・ スタンプラリーとか観光バス等道路事情に応じてできればどうかと思います。すでにあるのであれば特段なし。（50代／男性／大曲）
- ・ 桜巡り、スタンプラリー、おいしい食事、温泉も一緒に発信してほしい。（50代／女性／大曲）
- ・ 角館に追いつくのは至難だと思うので、桜の木の本数等の規模ではなく、その他イベント等で観光客を取り込めるようにできればよいのでは。（30代／男性／大曲）
- ・ 桜の名所でイベントを行い、FMはなびで中継する。（50代／男性／大曲）
- ・ 問3の「歌や踊りを披露する舞台」に関しては、地元の学生や団体を読んで演奏してもらえれば、保護者や同級生を通じてより多くの人にきてもらえると思います。（10代／女性／大曲）
- ・ 動機が大切だと思います。プロジェクトの八乙女公園でいうと齊内川土手、八乙女公園そばの道路といったまとまりで考えた中で、モデルルートを指示して巡っていただくという方法を早期に確立してほしいです。（50代／女性／中仙）
- ・ イベントの日にちが少ない。（50代／男性／太田）
- ・ 日立海辺公園や足利フラワーパークなど規模の大きさと多彩な事、花好きな人が行きたいくなるようにすること。（50代／女性／神岡）
- ・ 夜のライトアップの桜並木はとてもきれいでした。歩く道が暗く、上のライトと交互にでも下に明かりがあればいいと思いました。（40代／女性／西仙北）
- ・ 子供を連れて行ったとき、遊具が使えなかったり、売店が少なかったりと長時間居ることができなかつたのが残念だった。桜を観る目的ではあるが、駐車場の整備などもしてもらいたい。（40代／女性／太田）
- ・ 以前、八乙女公園に桜を観に出かけましたが、ただ桜を観て帰ってきただけ。のどが渇いた、一休みと思っても、飲食物の販売も休憩所もなく。あれでは活気もなければ地域にお金を落とそうとしてもできません。正直、これがまつり？と思いました。桜はきれいでしたが、もう一度行く気にはなれません。また、近くの道の駅なかせんもお粗末。（50代／女性／西仙北）
- ・ 学生は日中行かないので、夜のライトアップや屋台等充実させたらいいと思う。（10代／女性／太田）
- ・ 子供向けのイベントがあればいいと思う。（20代／女性／中仙）

□PR等について

- ・ 秋田の桜は他県と比べてもきれいな所がいっぱいある所なのでもっとアピールすべきです。（60代／男性／大曲）
- ・ あまり知られていない桜の名所を掘り起こして紹介してほしい。（70代／女性／協和）
- ・ 4K動画をYouTubeへアップロード。（60代／男性／大曲）
- ・ 市の広報で”桜が咲く前の3月の広報”で名所について紹介する。木の種類が記載されているとよい。（20代／男性／大曲）
- ・ 桜には何種類あるのか、大仙市に合う桜の紹介等。（80代以上／女性／西仙北）

- ・ 中仙地域以外の地域でも広く知ってもらうために駅や公民館へのポスター掲示や新聞、テレビ、ラジオなどの紹介も広げてほしいです。(20代/男性/西仙北)
- ・ 各地の桜まつりを記載したポスターを作製する。(40代/男性/中仙)
- ・ SNSなどでもっとアピールしてほしい(50代/男性/中仙)
- ・ 今年はコロナウイルスで残念でしたが、道の駅裏桜並木土手側はとても素敵です。シートを敷いて、家族でくつろいでいる方々が見られます。もっと、人々にアピールしたら、道の駅利用しながら、接客サービスをしてほしい。新幹線こまちと桜とのシャッターチャンスは、本当に季節1回なのです。(60代/女性/中仙)
- ・ 公園等の桜や桜まつりも素敵ですが、統合により廃校になってしまった中学校跡の桜もいいなと思います。特集を組んで広報に載せてみてはいかがでしょうか。(60代/女性/協和)
- ・ 桜の名所と言われていない場所でも桜の花見ができる場所が沢山あります。種類によって咲く期間の違うものもあります。「どこそこの桜がきれい」「〇〇の場所では、〇〇の桜が見られます」等の情報が、何らかの方法で伝わると良いと思います。(70代/女性/大曲)
- ・ 桜のある公園がいっぱいあるので、積極的なPR、情報交換もしてほしいと思います。同時スタートでイベントスタートしても良いと思う。(20代/男性/大曲)
- ・ 市内を通っていると桜のきれいなスポットが沢山ある。市内外のスポットの紹介をしても面白いと思う。そして、スポット周辺の見どころの施設や店を紹介しても町おこしになるのでは？フリーペーパーを作っても良いと思う。(30代/女性/大曲)
- ・ Twitterを活用した情報発信でリアルタイムの情報を発信。リツイートした人に抽選でプレゼント(桜グッズ)などをしてみたらどうなのか。子供づれでTwitter画面を見せるとプレゼント等。(30代/男性/太田)
- ・ 市内や市外の名所を網羅したマップを作って、「道の駅」などで配布してほしい。(70代/男性/大曲)
- ・ 桜の開花情報、ライトアップなど桜の名所をPRしてほしいです。(50代/男性/大曲)

#### □会場、周辺環境について

- ・ 大きな公園があれば雰囲気が出るのになと思ってました。(30代/女性/大曲)
- ・ 入場規制や駐車スペースの確保(またはある程度の取り締まり)が必要だと思う。(30代/男性/西仙北)
- ・ 八乙女公園は山道で車同士がすれ違いに大変苦労し、渋滞になっていた。客同士険悪な様子があり回りで見ていると不愉快だった。(50代/女性/大曲)
- ・ 昔から駐車場、道路など整備がなっていないと思う。スズメバチなどの害虫が多く危険だと思う。道路を一方通行にして、ライトアップするとういと思う。(40代/男性/中仙)
- ・ 広々とした駐車場があまりないので年配の足腰が弱い人でも楽しめるように近くに車を止めてゆっくりと桜を見学させてあげたいとおもいます。(60代/女性/大曲)
- ・ ゴミ箱の設置、回収は徹底すべき。雑草の除草等整備はこまめに実施してほしい。(30代/女性/大曲)
- ・ バス、電車のアクセスを良くしていただきたい。お酒を飲んだ後は、バス、電車を利用したい。(40代/女性/神岡)
- ・ 遊歩道の整備。(20代/女性/太田)
- ・ 道路から見える場所にある桜に満足し、駐車場が混んでいてとめられないなどがあるかと思うと会場への足が遠のいてしまう。(40代/女性/大曲)
- ・ 県道256号から長野大橋にかけての桜並木は大変に美しく、特に車で通る際には、桜のトンネルを潜り抜けるような感覚で、毎年感激している。しかし、桜まつりのころに木にぶら下げている提灯はダサいのでやめてほしい。せっかくの景観が台無し。(40代/女性/西仙北)

- ・ 駐車場の有無が集客にとって大切かと思います。(40代/男性/大曲)
- ・ 秋田はどこに行くにも車を使用するので、無料の駐車場を作ってほしい。(30代/女性/中仙)

#### □桜の管理等について

- ・ 地域に桜が10本くらい咲く場所があるか。今年は特別にきれいだ。これからは管理をしっかりとやってもらいたい。(60代/男性/大曲)
- ・ 老木の後の後継者ではないけれども、若い木を植樹して桜を絶やさないでほしい。(60代/女性/大曲)
- ・ 祭りには、ステージ、屋台、温泉、スポーツ大会等イベントも必須だと思うが、桜そのものがよくないと。桜の植樹、育成、手入れ等手間が大変であるだろうけどその積み重ねが大事だと思う。釈迦に説法だと思うが、この「なかせん千本桜プロジェクト」を応援したい。何ができるだろうか。(70代/女性/仙北)
- ・ 手入れの行き届いていない老木が目立ち、花にボリュームがない。(60代/男性/協和)
- ・ 豊成中が合併等によりグラウンドの未使用部分に桜の木を植えている。植えるのはいいことだが、その後のメンテナンス(消毒等)を充実させていくシステムや確約が必要。(30代/男性/大曲)
- ・ 市内の7~8か所の桜の維持管理に専用のスタッフを配置し、末永く育成するようにしてほしいです。(70代/男性/協和)
- ・ 桜の木の里親制度は実施しているものですか?八乙女山の復活を強く応援しています。(60代/男性/大曲)
- ・ 屋台が少なかったり、桜の木も元気がなくなっているように見え、少し寂しく感じています。たくさんの方が桜を楽しめるように、再生活動に力を入れてほしいと思います。(30代/女性/大曲)
- ・ ボランティアで参加し、協力したい。(70代/男性/中仙)

#### □その他

- ・ 旧市町村でのイベントをすべて継続していくのは無理があるのでは。あまり職員の動員がないようにし、地域に任せるような所も必要なのでは?難しいですね。(60代/男性/仙北)
- ・ 一年間のうちの一週間だけしか出来ないことに、税金を使う必要なし。天候や時期にずれがあり、難しいと思います。(50代/男性/大曲)
- ・ 八乙女公園に行く位だったら、もう少し足を伸ばして角館方面まで行ってしまわないのでしょうか。(50代/女性/大曲)
- ・ 特に祭りを開催しなくてもよい。静かな桜が見たい。(30代/女性/太田)
- ・ 無駄なことはやめましょう。中仙の桜まつりを取り上げるより、隣の角館をサポートしたほうがプラスになるのでは。(30代/男性/中仙)
- ・ 花火会場でもある河川敷にもきれいな桜がたくさんあります。活用すればいいのに、といつも思います。桜は角館というイメージが強いので。(40代/女性/大曲)
- ・ 私が住んでいる太田地域で毎年行われている”黄桜まつり”は小さい規模ながらも、町外の方でも楽しみにしている方がいるので、とても誇らしいです。今後も続けていってほしいです。(30代/女性/太田)
- ・ 「なかせん千本桜プロジェクト」が成功して市外県外にも認知され市を代表する観光地となってもほしい(60代/女性/大曲)

- ・ お隣の角館の桜まつりは有名な通りにきれいで活気づいています。（今年はコロナで残念）でも、名の通っていない所にも普通にきれいに桜が咲き見とれてしまう景色もあります。桜は春の訪れを感じる花で、秋田を含めた北国では待ち遠しい季節なのですが、手をかけて下さっている人がいるからきれいに咲いていることも忘れてはいけませんね。せめて見て歩く人たちはゴミを捨てたりせず、マナーも忘れないように1人ひとりが気を付けなければと思います。（50代/女性/中仙）
- ・ 仕事柄中仙に行くことが多く、春になると中仙はこんなに桜が多い所なんだと知りました。イメージとしては、角館が強かったが、これを機に色々な所へ行ってみようと思いました。（40代/女性/西仙北）
- ・ 仙北郡内では、桜といえば角館ということが全国的に知れている。大仙市で桜まつりで観光PRでは、太田の黄桜か開花時期をずらして咲く八重桜など考えたらどうか。（60代/男性/中仙）

#### ◆ 調査結果のまとめ及び今後の方針

- 問1の市の「桜の名所」といえばどこを思い浮かべるかについては、「八乙女公園」が57.1%で最も多く、問4の八乙女公園を訪れたことがあるかについては、67.8%の方が「ある」と回答しており、八乙女公園が市を代表する桜の名所として市全体に浸透していることが伺える。
- 問2の桜を見に行くとき、何から情報を得て行くかについては、多くの方が「テレビ」や「新聞」、「友人・知人」から情報を得ており、年代別では10～30代は「インターネット」や「SNS」、40～80代は「新聞」や「広報」から情報を得ていることがわかる。より多くの方に八乙女公園をはじめとする「なかせん千本桜エリア」の桜を楽しんでいただくため、様々な媒体を活用して、年代に合わせた効果的なPRを行っていく必要がある。
- 問3の桜まつりに期待するイベントについては、屋台コーナー、桜のライトアップ、特産品やお土産の販売などが高い回答率となっていることから、八乙女公園と道の駅なかせんを中心に開催する桜まつりの事業内容に反映し、より多くの方から訪れてもらえる内容を企画し、市民と地域の元気創出を図っていく必要がある。
- 「なかせん千本桜プロジェクト」については、「知らなかった」と回答した方が全体で74.4%となっており、中仙地域でも50.7%と高い割合となっている。今後、桜まつりとあわせて広く周知するとともに、八乙女公園を地域の魅力ある自然資源、観光資源として発信していくことにより、八乙女公園が市を代表する観桜名所として確立するよう推進していく必要がある。